

平成 26 年度 老人保健健康増進等事業
(老人保健事業推進費等補助金)

在宅認知症者のステージごとの生活障害と行動・心理症状に
応じたグッドプラクティスを普及するための
イラスト教材開発事業

報告書

平成 27 (2015) 年 3 月

公益財団法人 日本訪問看護財団

はじめに

現在、わが国の認知症者は 500 万人を超えていると言われ、医療・介護サービスを利用しながら、自宅あるいは医療・介護施設で暮らしています。

これまで認知症ケアの具体的技術は、主に介護施設内のアルツハイマー型認知症者に対するケアや中核症状、行動・心理症状に対するケアに焦点を当てながら発展を続けてきました。しかし、これからの日本では市町村を単位とする地域包括ケアを基盤として、誰でも住み慣れた地域で最期まで自分らしく生活していくことを目指していきます。

そのためには、認知症者は認知障害によってさまざまな生活行為が困難になることを生活障害として位置付け、認知症のステージごとの生活障害や行動・心理症状に応じたケアが確立され、日常生活における困難を解消していくことが不可欠です。

昨年度、「在宅認知症者のステージごとの生活障害と行動・心理症状に応じたケアガイドの開発事業」では、認定看護師や専門看護師、さらには各都道府県政令市において認知症ケアの指導的な立場にある認知症介護指導者からなる認知症ケア熟練者による、生活障害や行動・心理症状に対する具体的なケアを明らかにしました。それらのケアは認知症者を介護する専門職だけではなく、ご家族にとってもヒントとなり得るものでした。

本年度は、認知症ケア熟練者の再度のご協力によって、それらのケアをさらに洗練し、イラスト教材を開発することを目指しました。

本報告書が、家族介護者の皆様、訪問看護師やデイサービスの看護師、介護支援専門員、ホームヘルパーなど在宅認知症者とご家族を支援する多くの専門職の皆様にとって安心と自信、ケアの創造へといざなう教材となることを心より願っています。

平成 27 年 3 月

「在宅認知症者のステージごとの生活障害に応じたグッドプラクティスを普及するためのイラスト教材開発」検討委員会

委員長 諏訪 さゆり

(千葉大学大学院看護学研究科)

目次

第1章 事業の概要

- 1. 背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 2. 目的・意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 3. 実施概要
 - 1) 検討委員会の設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - 2) 在宅認知症者へのより効果的なグッドプラクティスを明らかにするための調査
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - 3) イラスト教材作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

第2章 在宅認知症者へのより効果的なグッドプラクティスを明らかにするための調査

- 1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2. 調査の内容・方法
 - 1) 調査内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - 2) 調査項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - 3) 調査方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - 4) 調査実施期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 3. 調査の結果
 - 1) 回答者について
 - (1) 回答者の資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
 - (2) 回答者の職種・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
 - (3) 所属施設・部署・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 - (4) 認知症ケアの経験年数・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - (5) 性別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - (6) 年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
 - 2) 生活障害と行動・心理症状に対する認知症者へのケアについて
 - (1) 有益なケア・実践可能なケアについての類型化・・・・・・・・ 18
 - (2) 有益だが困難なケアについて・・・・・・・・・・・・ 27

第3章 考察

- 1. 回答者について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
- 2. 認知症者のステージごとの生活障害のケアの特徴
 - 1) 軽度（FAST ステージ3）認知症者の生活障害のケアの特徴・・・・ 53
 - 2) 中等度（FAST ステージ4）認知症者の生活障害のケアの特徴・・・・ 54
 - 3) 重度（FAST ステージ5・6・7）認知症者の生活障害のケアの特徴・・・・ 55
- 3. BPSD に対するケアの特徴・・・・・・・・・・・・・・・・ 57

4. 調査結果を踏まえたイラスト教材開発における基本的考え方	57
5. 認知症ケアの実践者を広げるために	57

参考資料

○ アンケート調査票	61
○ FAST ステージ	69

第 1 章 事業の概要

第1章 事業の概要

1. 背景

わが国では、急速な高齢化に伴い、認知症者数の増加が見込まれている。認知症者は2025年に700万人を超え、65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症に罹患する計算になると厚生労働省は発表した。この数値は医療や介護に携わる人だけでなく、日常的に誰もが認知症者に接する機会が増えると換言できる。しかしこれまでの認知症ケアは、施設におけるケアを中心に語られてきており、家族や認知症ケアに携わって間もない初心者へのケアについての情報は不足している現状がある。日常生活におけるケア方法を知るとは、認知症者の穏やかな生活につながるだけでなく、介護する側の負担を軽減することにもつながる。

2. 目的・意義

そこで本事業は、在宅認知症者のステージごとの生活障害と行動・心理症状に応じたグッドプラクティスを普及するために、イラスト教材を開発することを目的として行った。

在宅認知症者に的確なケアのヒントを盛り込んだイラスト教材は、認知症ケア熟練者のみならず、家族介護者や認知症ケア初心者が実施可能なケアのグッドプラクティスを、視覚的に理解・共有可能なものとする。さらに、認知症者へのよりよいケアの在り方を、全ての人々に広く普及・啓発することにつながり、それぞれの立場でケアの現状を見直すきっかけになると考える。

3. 実施概要

1) 検討委員会の設置

学識経験者、実践者等による検討委員会を設置し、研究計画の作成、調査の内容・方法について検討を行った。

(1) 委員構成

【検討委員会】

委員長	諏訪 さゆり	千葉大学 教授
委員	志谷 洋子	介護サービスセンター光洋 社長
	武田 純子	有限会社ライフアート 代表取締役
	谷川 良博	広島都市学園大学 講師
	中村 考一	認知症介護研究・研修東京センター 主任研修主幹
	佐藤 美穂子	日本訪問看護財団 常務理事
	上野 まり	日本訪問看護財団 事業部長

【業務の一部委託先】

星芝 由美子 三菱UFJリサーチ&コンサルティング

【事務局】	山辺 智子	日本訪問看護財団 研究員
	湯本 晶代	日本訪問看護財団 研究員補佐

(2) 委員会の開催

<第1回検討委員会>

日時：平成26年9月18日（木）16時～18時
場所：フクラシア東京ステーション 6階F会議室
出席者：検討委員6名、事務局 日本訪問看護財団2名
議事：研究計画の検討、調査内容の説明と検討

<第2回検討委員会>

日時：平成27年1月28日（金）16時～18時
場所：フクラシア浜松町 6階D会議室
出席者：検討委員6名、事務局 日本訪問看護財団2名
議事：調査結果の中間報告

<第3回検討委員会>

日時：平成27年3月5日（木）18時00分～20時00分
場所：フクラシア浜松町 6階D会議室
出席者：検討委員7名、事務局 日本訪問看護財団2名
議事：調査結果の報告、報告書およびイラスト集案検討

2) 在宅認知症者へのより効果的なグッドプラクティスを明らかにするための調査

(1) アンケート調査

①調査対象

老人看護専門看護師 62名、地域看護専門看護師 22名、在宅看護専門看護師 11名、訪問看護認定看護師 363名、認知症看護認定看護師 409名、認知症介護指導者 1,289名、合計 2,156名を対象とした。

②実施方法

先行研究により明らかにされた、認知機能低下が軽度・中等度・重度にある在宅および長期ケア施設で療養する認知症者の、生活障害と行動・心理症状に応じたグッドプラクティスを統合したものの中から、在宅認知症者に対して家族およびケアスタッフが実践可能であり、かつ、より効果的なものを教材開発を視野に入れて厳選することを目的とし、自記式、郵送法にてアンケート調査を実施した。そして、その結果をもとにイラスト集を作成した。

③調査実施期間

平成26年11月5日から平成26年12月15日まで。督促状を郵送し、最終締め切り

を平成 27 年 1 月 9 日まで延長した。

④ 主な調査内容

昨年度施行した平成 25 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康推進等事業）「在宅認知症者のステージごとの生活障害と行動・心理症状に応じたケアガイドの開発」および先行研究から、アルツハイマー型認知症者のステージごとの生活障害と行動・心理症状に応じたグッドプラクティス 142 項目を抽出した。そして各項目の、認知症者への有益性（有益）と家族介護者や認知症ケア初心者の実施可能性（平易）を、それぞれ 4 件法で尋ねた。

（2）倫理的配慮

調査の実施にあたり、日本訪問看護財団研究倫理委員会の審査を受け承認を得た。研究の目的、プライバシーは厳守されること、調査への協力は任意であること、調査に協力しないことで一切不利益を被ることはないこと等を書面で説明し、調査票への記入及び返送をもって調査への同意を得られたものとした。

3) イラスト教材作成

研究の結果を踏まえ、「有益」・「平易」が 50%を越えたケア項目を抽出した。さらに、「有益」は 50%を超えているが「平易」は 50%以下である項目については、難しいと諦めず関わるのが重要であるため、ケアのヒントとして加えた。その後検討委員会において討議し、23 項目のケアに関するイラスト教材を作成した。

第2章 アンケート調査

第2章 在宅認知症者へのより効果的なグッドプラクティスを明らかにするための調査

1. 調査の目的

在宅認知症者のステージごとの生活障害と行動・心理症状に応じたグッドプラクティスを普及するために、イラスト教材を開発することを目的とした。

2. 調査の内容・方法

1) 調査内容

本調査は、老人看護専門看護師 62 名、地域看護専門看護師 22 名、在宅看護専門看護師 11 名、訪問看護認定看護師 363 名、認知症看護認定看護師 409 名、認知症介護指導者 1,289 名、合計 2,156 名を対象とし、調査票を配布・回収した。

2) 調査項目

主な調査項目は、昨年度施行した平成 25 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康推進等事業）「在宅認知症者のステージごとの生活障害と行動・心理症状に応じたケアガイドの開発」および先行研究から、アルツハイマー型認知症者のステージごとの生活障害と行動・心理症状に応じたグッドプラクティス 142 項目を抽出した。そして各項目の、認知症者への有益性（有益）と家族介護者や認知症ケア初心者の実施可能性（平易）を、それぞれ 4 件法で尋ねた。

3) 調査方法

訪問看護認定看護師、認知症看護認定看護師、認知症介護指導者等（2,156 名）に調査票を郵送配布・郵送回収した。

4) 調査実施期間

平成 26 年 11 月 5 日から平成 26 年 12 月 15 日まで。督促状を郵送し、最終締め切りを平成 27 年 1 月 9 日まで延長した。

3. 調査の結果

有効回収数は 568 件、有効回収率は 26.3%であった。

図表 1 回収結果

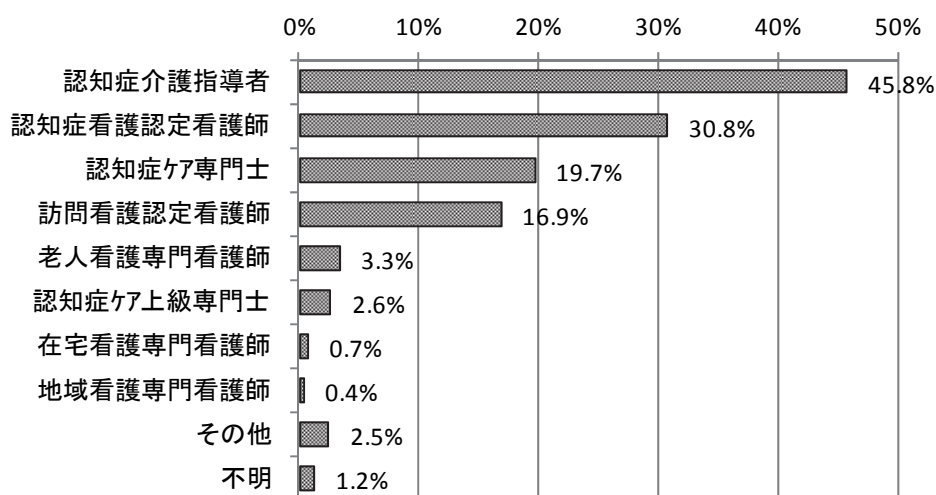
対象数	有効回収数	有効回収率
2,156 件	568 件	26.3%

1) 回答者について

(1) 回答者の資格

回答者の資格は、「認知症介護指導者」が 45.8%で最も多く、次いで「認知症看護認定看護師」が 30.8%であった。

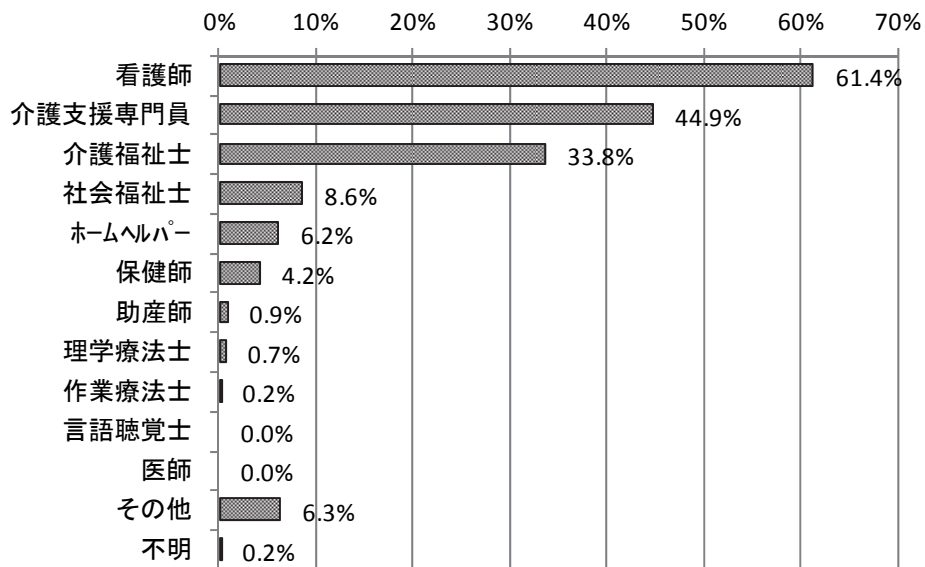
図表 2 資格（複数回答）（n=568）



(2) 回答者の職種

回答者の職種は、「看護師」が 61.4%で最も多く、次いで「介護支援専門員」が 44.9%、「介護福祉士」が 33.8%であった。

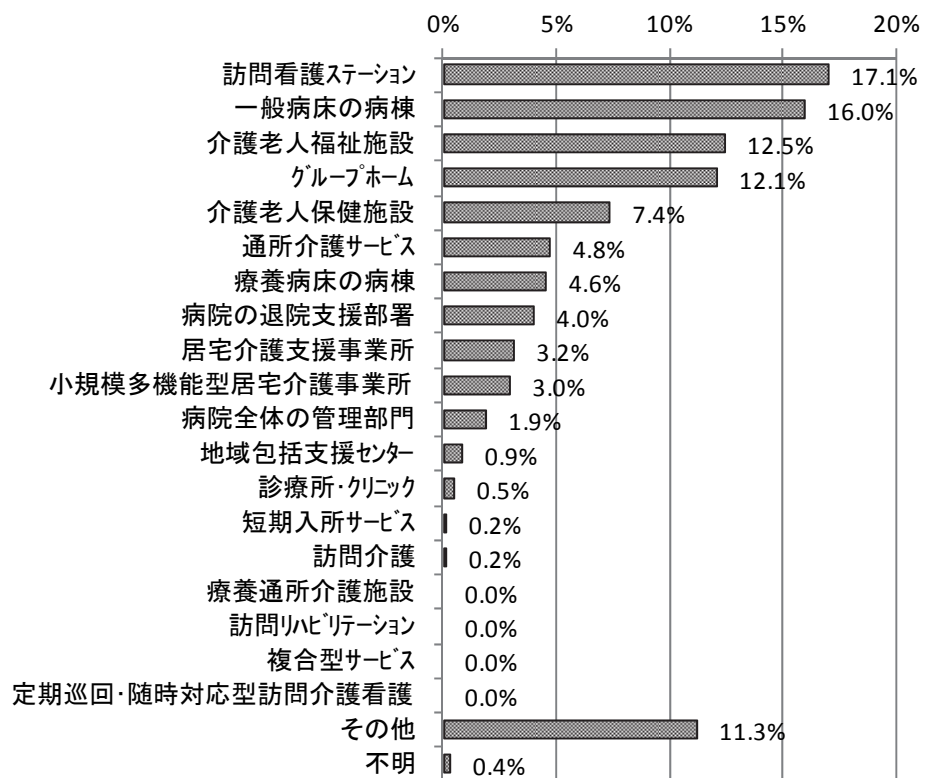
図表3 職種（複数回答）（n=568）



(3) 所属施設・部署

回答者の所属施設・部署は、「訪問看護ステーション」が17.1%、「一般病床の病棟」が16.0%、「介護老人福祉施設」が12.5%、「グループホーム」が12.1%であった。

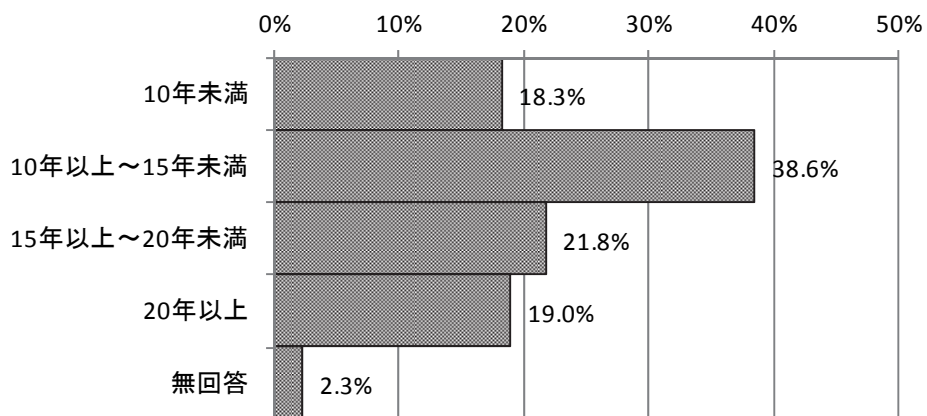
図表4 所属施設・部署（n=568）



(4) 認知症ケアの経験年数

認知症のケアの経験年数は、「10年以上15年未満」が38.6%で最も多く、平均は13.6年であった。

図表5 認知症ケアの経験年数



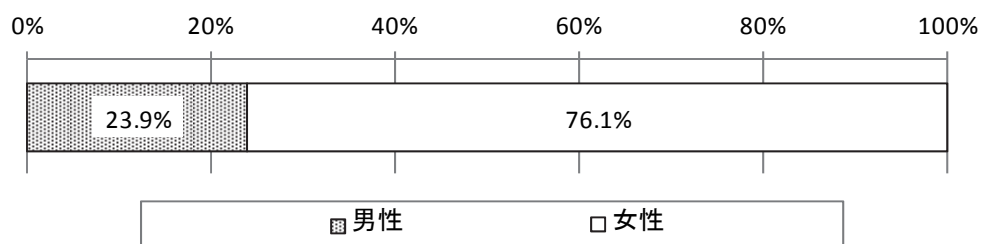
単位：年

件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
555	13.6	5.7	14.0	32	0

(5) 性別

回答者の性別は、「男性」が23.9%、「女性」が76.1%であった。

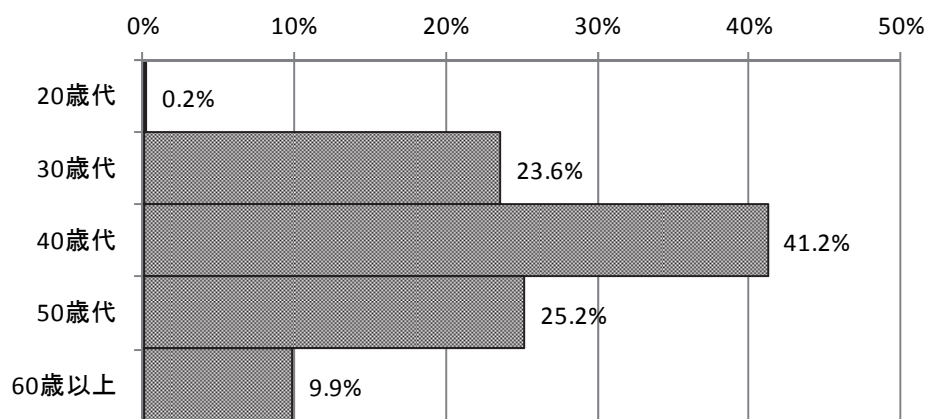
図表6 性別 (n=568)



(6) 年齢

年齢は「40歳代」が41.2%で最も多く、平均年齢は42.5歳であった。

図表7 年齢



単位：歳

件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
568	42.5	9.3	40.0	70	20

2) 生活障害と行動・心理症状に対する認知症者へのケアについて

(1) 有益なケア・実施可能なケアについての類型化

軽度・中等度・重度のアルツハイマー型認知症者に以下の表中の項目の生活障害と行動・心理症状がみられる場合のケアについて、有益なケアであるか、実施可能なケアであるかをたずねた。(軽度：FAST ステージ3、中等度：ステージ4、重度：ステージ5～7)

『有益なケア』とは、認知症者の力を引き出して生活行為を可能な限り自立して行うことを支援でき、さまざまな認知症者の生活行為の支援方法のヒントとなるケアを指すこととした。

『実施可能なケア』とは、回答者自身だけでなく、助言があれば家族介護者や認知症ケア初心者が実施することができるケアを指すこととした。

「認知症者に有益なケアであるか」について「有益でない」～「有益である」、「実施可能なケア」について家族介護者や認知症ケア初心者にとって「困難」～「平易」のそれぞれ4段階の中で、最もあてはまる番号1つに○をつけてもらった。

表中では、「認知症者に有益なケアであるか」については「有益である」と「やや有益である」の合計値(以下、「有益」)、「実施可能なケア」については「平易」と「どちらかと言えば平易」の合計値(以下、「平易」)を表記した。(単位：%)

この値が50%以上か未満かに着目し、「有益か」、「実施可能か」の組み合わせで4群(グループ)に分類した。

有益か	実施可能か	グループ	表中の様
50%以上	50%以上	有益で平易	無地
50%以上	50%未満	有益だが困難	黒地
50%未満	50%以上	有益でないが平易	水玉
50%未満	50%未満	有益でなく困難	斜線

なお、各グループの項目数は以下の通りであった。

グループ	表中の様	項目数
有益で平易	無地	109
有益だが困難	黒地	20
有益でないが平易	水玉	8
有益でなく困難	斜線	5

【軽度の認知症者に対するケア】
FASTステージ3

		有益でない	有益あまりでない	やや有益である	有益である	困難	どちらかと言えれば困難	どちらかと言えれば平易	平易
目的の行く場	蛍光色のテープを床にはるなど、夜中でも行く場所がわかるようにする	69.5				81.7			
歯磨き	鏡を見て確認するように言葉をかけて、歯磨き粉が口のまわりについたままにならないようにする	83.5				89.3			
化粧	化粧水や乳液などを適量出せない時は、ポンプ式の容器に変える	61.6				85.9			
髭剃り	自分から髭そりをしない時は、介護者から「今日は髭をそりましょう」と声をかける	90.7				92.5			
義歯の洗浄	「歯の点検をしましょう」「口の中を観察させてください」などと介護者から声をかけて、自ら義歯をはずすことができるようにする	85.3				76.2			
薬の管理	医師と相談して内服を毎日1回にして、処方通りに服薬できるようにする	85.6				74.8			
	家族やヘルパーから内服薬を毎回手渡して、処方通りに服薬できるようにする	90.6				72.9			
	電話なども活用して介護者から服薬時間であることを伝え、処方通りに服薬できるようにする	66.5				52.1			
	服薬カレンダーを利用して、処方通りに服薬できるようにする	79.1				81.9			
	医師と相談し一包化して、処方通りに服薬できるようにする	93.1				86.1			
	薬包に日付を書くなどして、服薬したことを確認できるようにする	84.7				85.7			
洗濯	電話なども活用して、介護者から午前中に洗濯物を干したかどうかを確認する等して、干し忘れないようにする	72.5				61.4			
	介護者がそばについて手順を伝えるなどして、干し方がわかるようにする	90.0				61.6			
買い物	必要な物を買わないようにメモを書き、買い物時に持って行けるようにする	82.4				80.7			
	スーパーの案内表示を指さし、「ここには〇〇がありますよ」と伝える等して、どこに何が売っているかわかるように声を掛ける	79.2				73.5			
	冷蔵庫に入っている物を紙に書いて冷蔵庫に貼っておくなどして、消費期限の前に冷蔵庫の中の物を食べることができるようにする	64.6				62.7			
掃除	電話なども活用して、ごみ出しの日がわかるように、介護者から伝える	79.4				71.3			

【中等度の認知症者に対するケア】
FASTステージ4

		有益でない	有益あまりでない	やや有益である	有益である	困難	どちらかと言えれば困難	どちらかと言えれば平易	平易
目的の場所に 行く	目的の場所に目印になるものを示し、それを目指すように伝える	71.8				77.8			
	どこに行ったらよいかわからない時は、行きたい場所まで一緒に移動する	94.0				69.0			
排便	排便後は、ハンドルやボタンの位置や操作の仕方を言葉で伝えて、流すことがわかるようにする	64.6				65.9			
手洗い	介護者が身振りで回し方を伝えるなどして、水道栓の回し方がわかるようにする	83.8				76.8			
	水道栓にわかりやすい表示をする等して、水温を調節できるようにする	54.5				65.1			
	手洗いができない時は、「手を洗いましょう」と声をかける	87.5				89.2			
	介護者が認知症者の手にポンプ式の石鹸をワンプッシュのせ、水道の水を出す等して、一連の動作がわかるようにする	85.6				79.9			
	石鹸の泡を手全体に行き渡らせることができるように声をかける	79.4				81.1			
洗顔	顔の一部分しか洗わない場合は、顔全体を洗うことができるように「こちらもしっかり洗いましょう」と声をかける	85.7				82.1			
歯磨き	歯磨き後、水を口の中を含むこと・口をゆすぐことを言葉で伝え、コップに入れた水で口をゆすぐるようにする	77.6				72.9			
食事	空腹時に食べられるように、冷蔵庫内ではなく見える場所に間食を置く	65.4				80.8			
飲む	「熱いのでゆっくり飲みましょう」と言葉で伝え、熱い飲み物を熱いとわかるようにする	74.3				79.8			
着衣	外の景色を見ながら昼間であることを伝え、寝巻を着替えるように促す	84.4				78.7			
	ズボンを上着のように着るときは、「それはズボンなので足を入れましょう」と言葉で伝える	63.6				71.1			
脱衣	脱いだ物を本人用のカゴや袋にまとめるなどして、脱いだ衣類を紛失する心配をしないようにする	77.6				81.7			
入浴	どこを洗っていいのかわからないときは、洗っていない部分を伝える	81.5				81.0			
	容器の色を変えたり、文字で大きく書いておくなどして、シャンプー・リンス・ボディソープの違いがわかるようにする	68.5				82.5			
	湯船のつかり方がわかるように、介護者が言葉で伝える	69.9				72.4			
髭そり	電気カミソリのスイッチの位置がわからない時は、わかりやすいように印をつける	70.8				82.9			
	片側の髭だけをそる時は、「こちらにも髭がありますよ」ともう一方の髭をそるように声をかける	87.0				84.2			
義歯の洗浄	自ら義歯を洗浄しない時は、洗面所まで誘導し、声をかける	80.4				73.8			
	洗浄剤を使う意味や使い方を言葉で伝えて、食べ物と間違えないようにする	41.2				56.3			

【中等度の認知症者に対するケア】 FASTステージ4

認知症者のケアのヒント
としてどの程度有益か

家族介護者や認知症
ケア初心者にとって
どの程度実施可能か

		有益でない	有益でない あまり	やや有益 である	有益である	困難	どちらか 言えれば 困難	どちらか 言えれば 平易	平易
薬理の	薬のセットの仕方が少しでも普段と違うと混乱する時は、セットの仕方を関係者で統一する	92.1				75.0			
料理	介護者が食材を切っているところを見てもらい、切り方がわかるようにする	76.5				70.9			
	目につく場所に「火の元確認」の貼り紙をして、火をつけている事を忘れないようにする	45.5				68.1			
	鍋を焦がさないよう、電気調理器に変更し、使い方を番号で表示する	48.2				51.7			
	鍋を焦がさないよう、自動消火するガスレンジに変更する	78.2				59.9			
洗濯	脱いだものをまとめて置く場所を決め、一緒に仕分けるなどして、脱いだ服と着ていない服の区別がわかるようにする	66.0				69.2			
買い物	スーパーが比較的空いている時間帯に買い物に行き、自分のペースで支払ができるようにする	84.3				58.3			
	介護者が一緒に買い物に行き、お札や小銭の種類と数を言葉で伝え、支払ができるようにする	76.4				53.7			
	多量の食材を買い込む習慣がある時は、賞味期限を一緒に確認して賞味期限が切れている物は捨て、新たに買いすぎないように説明する	50.7				42.7			
	賞味期限切れの食品がある時は、地域の商店の人に本人が買いすぎないように量をみてもらったり、品物を選んでもらえるようにする	80.1				29.4			
	通信販売のダイレクトメールを本人と一緒に整理して、通信販売で不必要なものを次々と購入しないようにする	66.2				38.6			
掃除	汚れていても気にしない時は、「きれいになると気持ち良いですよ」と声をかけ、一緒に掃除をする	78.0				62.1			
	片付け方がわかるように、介護者から声をかけて一緒に片付ける	85.4				67.4			
意思の 表現の	自分の意思を表現する言葉がでにくい時は、最後まで話を聴き、本人の思いを復唱して確認する	94.8				58.3			

【重度の認知症者に対するケア】 FASTステージ5～7

認知症者のケアのヒント
としてどの程度有益か

家族介護者や認知症
ケア初心者にとって
どの程度実施可能か

		有益でない	有益あまりでない	やや有益である	有益である				
						困難	どちらかと言えれば困難	どちらかと言えれば平易	平易
目的の場所に 行く	トイレのドアをあらかじめ開けておき、場所がわかるようにする	69.6				79.4			
	トイレや周囲の照明をつけておき、場所がわかるようにする	82.0				84.9			
排便	便意のサインをとらえて、トイレへ誘導する	96.3				32.4			
	目立つ色の便座カバーや消臭シートを用いて、便座であることをわかるようにする	63.7				73.6			
	立つ位置に目立つ色のビニールテープなどを貼るなどして、便器の適切な位置に座れるようにする	57.2				68.9			
	手すりと握る部位を示して、便器の適切な位置に座れるようにする	70.9				67.2			
	便器の前で立ち止まった時は、スムーズに座ることができるように、「私(介護者)の方を向いてください」と伝えて身体の向きを変えてもらう	83.6				67.6			
	ペーパーをたくさん出してしまう時は、排便後に使う1回分のペーパーを箱の中に入れ、見える場所に置く	72.2				73.4			
	ペーパーを便器内に捨てない時は、トイレ内にゴミ箱やカゴを用意して、その中に捨てられるようにする	78.9				79.9			

【重度の認知症者に対するケア】 FASTステージ5～7

認知症者のケアのヒント
としてどの程度有益か

家族介護者や認知症
ケア初心者にとって
どの程度実施可能か

		有益でない	有益でない あまり	やや有益 である	有益である	困難	どちらか 言えば 困難	どちらか 言えば 平易	平易
排尿	尿意のサインをとらえてトイレへ誘導する				95.6				34.0
	いきむことができず腹圧をかけられない時は、本人の握りこぶしをお腹に当てて、その上に介護者の手を当ててゆっくと圧迫する				75.9				41.7
	気になるものが本人の視界に入らないようにして、排泄の途中で立ちあがることなくゆっくと排泄できるようにする				88.9				62.3
	ペーパーの位置を言葉で伝えるなどして、自分でペーパーを巻き取ることができるようにする				61.6				56.5
	流し方がわかるように、利用者の手をハンドル・ボタンに誘導し、一緒に流す				77.1				66.6
	男性については、洋式トイレの便座に腰かけて排尿できるようにする				58.5				36.6
	男性についてはペニスを便器内に向けることができるように、便器内に目印をつけ、それをめがけて排尿できるようにする				47.7				39.6
手洗い	固形石鹸は分かるが液状石鹸は認識できない時は、固形石鹸をネットに入れて蛇口の近くに下げておく				73.9				80.3
	液状石鹸が石鹸であることがわからない時は、介護者が隣に立ち、手洗いを本人に見てもらう				75.9				76.9
	蛇口の下に手を出せない時は、片手をゆっくと誘導し、ぬるま湯に触れてもらう				90.8				77.8
	蛇口から出る水で洗い流せない時は、洗面器に水を溜め、その水の中で洗う				79.1				72.3
	掌を顔面に持って行くことを理解できない時は、蒸しタオルを使って清拭する				88.2				80.8
	顔を拭くとき、顔が濡れていてもタオルで拭くのやめてしまう時は、「このあたりを拭きましょう」と指差しながら伝える				74.7				74.8
歯磨き	本人にとって目印になるものをつけるなどして、自分の歯ブラシと他の人の歯ブラシが区別できるようにする				51.4				73.7
	歯ブラシであることを認識できずうまく使えない時は、介護者が側で歯磨きして本人に見てもらう				70.4				63.9
	口を開けないときは、ほほから口元へやさしくマッサージして自分から口を開けられるようにする				79.6				39.1
食事	食卓に何が並んでいるかはわからない時は、メニューを言葉で伝える				71.6				78.3
	食べ始めない・口を開けようとしなない時は、一口目を介助して食べてもらい、食べ物であることがわかるようにする				89.7				71.1
	口を開けるまで時間を要する時は、介護者のタイミングではなく、本人のタイミングに合わせて一口分の食べ物を口に含んでもらう				93.3				44.1

【重度の認知症者に対するケア】
FASTステージ5～7

		有益でない	有益あまりでない	やや有益である	有益である	困難	言えば困難	どちらかと言えれば平易	平易
食事	口の中の食べ物をいつまでも飲み込まないでいる時は、箸やスプーンなどを口元に運ぶことで、飲み込むことを促す		68.3				47.0		
	音や声かけ、介護者の動きを少なくして、食事動作を中断せずに食事に集中できるようにする		85.9				58.5		
	お皿の模様が気になる時は、模様のない皿に変更する		89.8				87.7		
	切る、小分けにすることができず、そのまま口に入れる時は、「小さくしましょうか」と尋ねてから本人の前で切り分ける		89.8				77.8		
	スプーン操作を継続できず手づかみや器に口をつけて食べようとする時は、おにぎりやつまめる形にして食べやすくする		95.2				78.5		
	箸やスプーンなどを持つとしない時は、介護者から本人に手渡す		88.0				83.4		
	適切な一口量を口の中に入れることができない時は、スプーンの大きさや器の大きさを調整する		95.1				80.6		
飲む	飲み込まず口にためてしまう時は、喉や口角を軽く圧迫刺激する		76.8				45.6		
	コップのどこを持ってばよいかかわからない時は、取っ手の付いたコップを使う		85.0				88.6		
	浅くて口が広いコップを使い、コップの中に飲み物が入っていることが見てわかるようにする		69.9				81.3		
着衣	洋服の上の下着を着ている時は、そのまま様子を見て、入浴後に適切に着衣できるように着る順番を言葉で伝える		50.9				53.0		
	着替えている途中で、着ているのか脱いでいるのかかわからない時は、声をかける		83.8				74.1		
	ボタンを掛け違えるときは、大きなボタンやはっきりした色のものにする		79.2				71.0		
	衣類に付いているタグを見てもらい、左右・裏表がわかるようにする		42.6				60.3		
	介護者が着るところを見てもらうなどして、洋服の着方がわかるようにする		57.2				55.9		
履物をはく	あらかじめ靴を正しく並べておき、足先と踵を間違えないようにする		84.1				87.9		
	靴をはかないで歩き出してしまう時は、玄関に椅子を準備して座ってもらい、靴をはけるようにする		77.0				78.0		
	履物の左右を間違える時は、靴の左右がわかるように印をつける		52.3				71.0		
脱衣	最初一枚を脱ぐことが難しい時は、介護者が一枚余計に着ていった服を脱ぐところを見てもらう		53.0				56.6		
	工程を一つずつ区切って「〇〇を脱ぎます」などと言葉や動作で伝え、脱ぎ方や脱ぐ順番がわかるようにする		76.9				67.1		
入浴	浴室へ移動していることがわかるように、繰り返し声をかけながら浴室へ誘導する		77.8				68.1		
	事前に入浴の説明をすると嫌がる時は、浴室の近くに誘導してから入浴について説明する		52.1				49.0		

【重度の認知症者に対するケア】 FASTステージ5～7

認知症者のケアのヒント
としてどの程度有益か

家族介護者や認知症
ケア初心者にとって
どの程度実施可能か

		有益でない	有益でない あまり	やや有益 である	有益である	困難	どちらか 言えば困難	どちらか 言えば平易	平易
入浴	入浴の必要性がわからない時は、信頼する医師などの専門職に「入浴して下さい」と書いてもらった紙を部屋に貼っておく		30.8				53.9		
	手すりにつかまってもらするなどして、浴槽の深さがわからなくても安心できるようにする		75.0				63.7		
	シャンプーを頭部にいきわたらせることを言葉や身振りで伝えて、シャンプーで顔を洗わないようにする		44.4				47.5		
	シャワーの水圧などに驚く時は、洗面器にお湯をくんで使う		91.5				82.5		
移乗	姿勢が傾いていても自分から直そうとしない時は、正しい位置へのポジショニングを言葉で伝える		41.1				52.3		
	一連の移動動作について説明して、動作がわかるようにする		45.1				47.7		
	車に乗る時、手や足を置く順番と場所がわかるように印をつける		46.6				53.2		
	座る位置を言葉や身振りで伝えて、深く座ることができるようにする		71.5				60.1		
仰臥位になる	横になることができない時は、先に介護者が寝てみせて、真似ることを待つ		57.7				54.1		
	枕の上に頭をのせようとする時は、手で枕を触れてもらい枕の上に頭をのせるように誘導する		76.4				66.9		
化粧	容器に順番を表示し、化粧品をつける順番を間違えないようにする		44.8				64.5		
	眉毛をマジックなどで描く時は、「これで描きましょう」と眉ずみなど適切な化粧品を手渡す		79.8				73.2		
	化粧品のふたの開け方、閉め方がわからない時は、介護者が開け方、閉め方を言葉や身振りで伝える		73.1				70.9		
髭をそる	電気カミソリを怖がる時は、介護者が一緒に持って剃る		63.9				62.0		
	髭が全て剃れたかを確認しない時は、自分で触って確認できるように介護者から声をかける		77.8				76.4		
	髭がそれた後もいつまでも止めない時は、「もう剃れてますよ」と声をかける		73.4				81.8		
義歯の洗浄	介護者が義歯を磨いている所を見てもらい、磨き方がわかるようにする		55.1				59.3		
	装着する時に口を開けない時は、義歯であることを認識できるように、声をかける		61.6				57.4		
薬の管理	服薬を拒む場合は、主治医の指示なので、服薬して欲しいことを伝える		31.5				45.9		
	一包化された薬を一日分手渡して自分で管理してもらう		9.7				35.9		
自分の意思の表現	質問に答えることができない時は、わかりやすい表現で質問する		88.7				55.6		
	自分の意思を表現できるまで、ゆっくり待つ		88.8				37.9		
	気持ちを察し、そのような気持ちであるかを問いかけて確認する		91.9				42.8		
	本人の言葉が出やすいリズムで話しかける		94.5				41.9		

【全てのステージにおける認知症者の BPSDに対するケア】

認知症者のケアのヒント
としてどの程度有益か

家族介護者や認知症
ケア初心者にとって
どの程度実施可能か

	認知症者のケアのヒントとしてどの程度有益か				家族介護者や認知症ケア初心者にとってどの程度実施可能か			
	有益でない	有益あまりでない	やや有益である	有益である	困難	どちらかと言えれば困難	どちらかと言えれば平易	平易
本人の言葉をさえぎらずに時間をかけて話を聞く		97.5				36.2		
気の合う人と一緒に過ごせるよう環境を整える		98.8				47.3		
夜眠ることができるように、本人の好みに配慮しながら、照明や室温などの環境を調整する		98.2				63.4		
静かな場所で過ごせるように環境を変える		91.9				56.9		
満足することができるように、ご本人がしたいことを聞き取り、実現させる		95.8				31.4		
心地よさを感じられるように、マッサージをしたり背中をさすったりする		96.1				68.6		
自尊心を保つことができるように、負担にならない仕事や役割を担ってもらう		97.2				49.6		
ここに居たいと思えるように、本人が好む作業の手伝いを依頼する		95.3				57.9		
ここに居たいと思えるように、洗濯物を配るなどの役割を担ってもらい、感謝の言葉をかける		94.1				69.7		
夜眠ることができるように、デイサービスに参加するなど日中に活動できるようにする		95.1				74.7		
物がなくならず安心できるように、物の名前を書いて貼る		70.1				73.7		
物がなくならず安心できるように、本人専用の箱に荷物を入れるようにする		79.8				80.7		
自宅に帰ることができるように、近隣者の理解と協力を得て家まで誘導してもらう		88.9				25.5		
夜眠ることができるように、夜になり眠る時間になったことを伝える		75.0				77.0		
夜眠ることができるように、寝巻に着替えて布団に入り寝ることを習慣づける		87.9				63.2		

(2) 有益だが困難なケアについて

有益だが困難なケア（黒地）に特に着目して、どのような人が有益と回答し、どのような人が困難と回答したかを整理した。

黒字の項目は全部で 20 項目であった。各項目毎に、ケアの経験年数、年齢、職種、所属による差がみられるか否かをクロス集計し、確認した。その結果を P28～47 の表に示す。

属性別に特徴がみられた部分をあみかけで示した。

なお、「職種」と「所属施設・部署」の選択肢は次のようにまとめた。

○職種：重複がある場合は、上を優先。

- ・看護職（看護師、保健師、助産師）
- ・介護職（介護福祉士、ホームヘルパー）
- ・社会福祉士
- ・その他（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護支援専門員、その他）

○所属の施設・部署

- ・病院・診療所（病院全体の管理部門、退院支援部署、療養病床の病棟、一般病床の病棟、診療所・クリニック）
- ・介護老人福祉施設・介護老人保健施設
- ・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- ・訪問看護ステーション
- ・他の在宅サービス（小規模多機能型居宅介護事業所、通所介護事業所、短期入所生活介護、地域包括支援センター、訪問介護事業所）
- ・その他

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-48 ヒト/中等度：多量の食材を買い込む習慣がある時は、賞味期限を一緒に確認して新たに買わずに説明する			Q2)2-48 実施/中等度：多量の食材を買い込む習慣がある時は、賞味期限を一緒に確認して新たに買わずに説明する						
		有益でない	あまり有益でない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	無回答	
全体	568 100.0%	33 5.8%	238 41.9%	219 38.6%	69 12.1%	9 1.6%	46 8.1%	265 46.7%	203 35.7%	40 7.0%	14 2.5%
Q1)1-4 認知症の経験年数											
10年未満	104 100.0%	3 2.9%	41 39.4%	44 42.3%	14 13.5%	2 1.9%	3 2.9%	52 50.0%	37 35.6%	10 9.6%	2 1.9%
10年以上～15年未満	219 100.0%	13 5.9%	94 42.9%	77 35.2%	30 13.7%	5 2.3%	25 11.4%	101 46.1%	75 34.2%	12 5.5%	6 2.7%
15年以上～20年未満	124 100.0%	10 8.1%	55 44.4%	47 37.9%	11 8.9%	1 0.8%	7 5.6%	60 48.4%	46 37.1%	9 7.3%	2 1.6%
20年以上	108 100.0%	6 5.6%	43 39.8%	46 42.6%	12 11.1%	1 0.9%	10 9.3%	47 43.5%	39 36.1%	8 7.4%	4 3.7%
Q1)1-6 年齢											
20歳代	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	4 3.0%	60 44.8%	50 37.3%	17 12.7%	3 2.2%	7 5.2%	61 45.5%	52 38.8%	10 7.5%	4 3.0%
40歳代	234 100.0%	15 6.4%	87 37.2%	98 41.9%	30 12.8%	4 1.7%	20 8.5%	113 48.3%	82 35.0%	14 6.0%	5 2.1%
50歳代	143 100.0%	6 4.2%	64 44.8%	58 40.6%	13 9.1%	2 1.4%	11 7.7%	70 49.0%	49 34.3%	9 6.3%	4 2.8%
60歳以上	56 100.0%	8 14.3%	26 46.4%	13 23.2%	9 16.1%	0 0.0%	8 14.3%	20 35.7%	20 35.7%	7 12.5%	1 1.8%
Q1)1-2 職種											
看護職	352 100.0%	19 5.4%	139 39.5%	142 40.3%	45 12.8%	7 2.0%	26 7.4%	164 46.6%	127 36.1%	26 7.4%	9 2.6%
介護職	181 100.0%	12 6.6%	84 46.4%	62 34.3%	21 11.6%	2 1.1%	18 9.9%	85 47.0%	62 34.3%	12 6.6%	4 2.2%
社会福祉士	12 100.0%	1 8.3%	5 41.7%	5 41.7%	1 8.3%	0 0.0%	2 16.7%	5 41.7%	4 33.3%	0 0.0%	1 8.3%
その他	22 100.0%	1 4.5%	10 45.5%	9 40.9%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	11 50.0%	9 40.9%	2 9.1%	0 0.0%
Q1)1-3 所属の施設・部署											
病院・診療所	154 100.0%	4 2.6%	55 35.7%	68 44.2%	25 16.2%	2 1.3%	6 3.9%	80 51.9%	54 35.1%	12 7.8%	2 1.3%
介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	9 8.0%	46 40.7%	38 33.6%	19 16.8%	1 0.9%	6 5.3%	48 42.5%	44 38.9%	12 10.6%	3 2.7%
訪問看護ステーション	69 100.0%	7 10.1%	35 50.7%	21 30.4%	5 7.2%	1 1.4%	6 8.7%	41 59.4%	17 24.6%	3 4.3%	2 2.9%
他の在宅サービス	97 100.0%	6 6.2%	39 40.2%	41 42.3%	8 8.2%	3 3.1%	12 12.4%	40 41.2%	37 38.1%	4 4.1%	4 4.1%
その他	51 100.0%	1 2.0%	26 51.0%	20 39.2%	3 5.9%	1 2.0%	7 13.7%	20 39.2%	20 39.2%	2 3.9%	2 3.9%
その他	82 100.0%	4 4.9%	37 45.1%	31 37.8%	9 11.0%	1 1.2%	8 9.8%	36 43.9%	30 36.6%	7 8.5%	1 1.2%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-49 ヒト/中等度：地域の商店の人に買いた ぎないよう量をみてもらったり、品物を選んで もらえるようにする			Q2)2-49 実施/中等度：地域の商店の人に買いた ぎないよう量をみてもらったり、品物を選んで もらえるようにする							
		有益で ない	あまり有 益でない	やや有益 である	有益で ある	無回答	困 難	ど ち ら か と 言 え ば 困 難	ど ち ら か と 言 え ば 平 易	ど ち ら か と 言 え ば 平 易	無 回 答	
		568 100.0%	22 3.9%	79 13.9%	287 50.5%	168 29.6%	12 2.1%	98 17.3%	288 50.7%	130 22.9%	37 6.5%	15 2.6%
Q1)1-4 認知 症の経験年 数	10年未満	104 100.0%	4 3.8%	8 7.7%	56 53.8%	32 30.8%	4 3.8%	17 16.3%	54 51.9%	24 23.1%	6 5.8%	3 2.9%
	10年以上～15年未 満	219 100.0%	7 3.2%	35 16.0%	106 48.4%	64 29.2%	7 3.2%	37 16.9%	118 53.9%	47 21.5%	11 5.0%	6 2.7%
	15年以上～20年未 満	124 100.0%	4 3.2%	18 14.5%	61 49.2%	41 33.1%	0 0.0%	18 14.5%	56 45.2%	36 29.0%	12 9.7%	2 1.6%
	20年以上	108 100.0%	7 6.5%	17 15.7%	55 50.9%	28 25.9%	1 0.9%	24 22.2%	54 50.0%	19 17.6%	7 6.5%	4 3.7%
	20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
Q1)1-6 年齢	30歳代	134 100.0%	4 3.0%	20 14.9%	61 45.5%	45 33.6%	4 3.0%	27 20.1%	63 47.0%	27 20.1%	12 9.0%	5 3.7%
	40歳代	234 100.0%	10 4.3%	25 10.7%	120 51.3%	73 31.2%	6 2.6%	37 15.8%	129 55.1%	51 21.8%	12 5.1%	5 2.1%
	50歳代	143 100.0%	4 2.8%	25 17.5%	73 51.0%	39 27.3%	2 1.4%	26 18.2%	69 48.3%	35 24.5%	9 6.3%	4 2.8%
	60歳以上	56 100.0%	4 7.1%	9 16.1%	32 57.1%	11 19.6%	0 0.0%	7 12.5%	27 48.2%	17 30.4%	4 7.1%	1 1.8%
	看護職	352 100.0%	14 4.0%	49 13.9%	179 50.9%	99 28.1%	11 3.1%	58 16.5%	181 51.4%	81 23.0%	21 6.0%	11 3.1%
Q1)1-2 職種	介護職	181 100.0%	8 4.4%	23 12.7%	91 50.3%	58 32.0%	1 0.6%	33 18.2%	89 49.2%	42 23.2%	14 7.7%	3 1.7%
	社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	2 16.7%	6 50.0%	4 33.3%	0 0.0%	3 25.0%	6 50.0%	2 16.7%	0 0.0%	1 8.3%
	その他	22 100.0%	0 0.0%	5 22.7%	10 45.5%	7 31.8%	0 0.0%	4 18.2%	11 50.0%	5 22.7%	2 9.1%	0 0.0%
	病院・診療所	154 100.0%	1 0.6%	15 9.7%	71 46.1%	63 40.9%	4 2.6%	26 16.9%	82 53.2%	33 21.4%	10 6.5%	3 1.9%
	介護老人福祉施 設・介護老人保健 グループホーム	113 100.0%	5 4.4%	14 12.4%	54 47.8%	40 35.4%	0 0.0%	19 16.8%	48 42.5%	34 30.1%	9 8.0%	3 2.7%
Q1)1-3 所属 の施設・部署	訪問看護ステ ーション	69 100.0%	5 7.2%	9 13.0%	38 55.1%	16 23.2%	1 1.4%	11 15.9%	39 56.5%	13 18.8%	4 5.8%	2 2.9%
	他の在宅サー ビス	97 100.0%	7 7.2%	19 19.6%	53 54.6%	15 15.5%	3 3.1%	18 18.6%	51 52.6%	20 20.6%	3 3.1%	5 5.2%
	その他	51 100.0%	1 2.0%	8 15.7%	26 51.0%	15 29.4%	1 2.0%	13 25.5%	22 43.1%	11 21.6%	4 7.8%	1 2.0%
	82 100.0%	3 3.7%	13 15.9%	44 53.7%	19 23.2%	3 3.7%	11 13.4%	45 54.9%	18 22.0%	7 8.5%	1 1.2%	

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-50 ヒト/中等度：通信販売のデジタルメールを本人と一緒に整理して、次々と購入しないようにする				Q2)2-50 実施/中等度：通信販売のデジタルメールを本人と一緒に整理して、次々と購入しないようにする					
		有益でいい	あまり有益でない	やや有益である	有益である	困る	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	無回答		
全体	568 100.0%	48 8.5%	134 23.6%	245 43.1%	131 23.1%	10 1.8%	68 12.0%	173 30.5%	46 8.1%	12 2.1%	
Q1)1-4 認知症の経験年数	10年未満	104 100.0%	6 5.8%	17 16.3%	50 48.1%	29 27.9%	2 1.9%	9 8.7%	30 28.8%	9 8.7%	2 1.9%
	10年以上～15年未満	219 100.0%	18 8.2%	56 25.6%	96 43.8%	42 19.2%	7 3.2%	32 14.6%	100 45.7%	67 30.6%	14 6.4%
	15年以上～20年未満	124 100.0%	10 8.1%	35 28.2%	50 40.3%	29 23.4%	0 0.0%	12 9.7%	58 46.8%	42 33.9%	11 8.9%
	20年以上	108 100.0%	14 13.0%	24 22.2%	40 37.0%	29 26.9%	1 0.9%	15 13.9%	51 47.2%	27 25.0%	12 11.1%
	20歳代	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
Q1)1-6 年齢	30歳代	134 100.0%	6 4.5%	35 26.1%	56 41.8%	35 26.1%	2 1.5%	16 11.9%	60 44.8%	45 33.6%	10 7.5%
	40歳代	234 100.0%	18 7.7%	45 19.2%	113 48.3%	52 22.2%	6 2.6%	24 10.3%	118 50.4%	71 30.3%	17 7.3%
	50歳代	143 100.0%	11 7.7%	41 28.7%	56 39.2%	33 23.1%	2 1.4%	17 11.9%	67 46.9%	42 29.4%	14 9.8%
	60歳以上	56 100.0%	12 21.4%	13 23.2%	20 35.7%	11 19.6%	0 0.0%	11 19.6%	23 41.1%	15 26.8%	5 8.9%
	看護職	352 100.0%	27 7.7%	73 20.7%	156 44.3%	87 24.7%	9 2.6%	31 8.8%	180 51.1%	101 28.7%	31 8.8%
Q1)1-2 職種	介護職	181 100.0%	19 10.5%	51 28.2%	73 40.3%	37 20.4%	1 0.6%	31 17.1%	79 43.6%	57 31.5%	12 6.6%
	社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	4 33.3%	6 50.0%	2 16.7%	0 0.0%	2 16.7%	5 41.7%	4 33.3%	0 8.3%
	その他	22 100.0%	1 4.5%	6 27.3%	10 45.5%	5 22.7%	0 0.0%	4 18.2%	5 22.7%	10 45.5%	3 13.6%
	病院・診療所	154 100.0%	4 2.6%	34 22.1%	63 40.9%	50 32.5%	3 1.9%	12 7.8%	81 52.6%	48 31.2%	11 7.1%
	介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	9 8.0%	33 29.2%	42 37.2%	29 25.7%	0 0.0%	11 9.7%	50 44.2%	37 32.7%	12 10.6%
Q1)1-3 所属の施設・部署	訪問看護ステーション	69 100.0%	4 5.8%	19 27.5%	34 49.3%	11 15.9%	1 1.4%	15 21.7%	30 43.5%	19 27.5%	3 4.3%
	他の在宅サービス	97 100.0%	9 9.3%	18 18.6%	52 53.6%	15 15.5%	3 3.1%	9 9.3%	47 48.5%	31 32.0%	7 7.2%
	その他	51 100.0%	6 11.8%	14 27.5%	23 45.1%	7 13.7%	1 2.0%	11 21.6%	25 49.0%	11 21.6%	3 5.9%
	その他	82 100.0%	14 17.1%	16 19.5%	31 37.8%	19 23.2%	2 2.4%	8 9.8%	36 43.9%	27 32.9%	10 12.2%
	その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-56 ヒト/重度：便意のサインをとらえて、トイレへ誘導する					Q2)2-56 実施/重度：便意のサインをとらえて、トイレへ誘導する					
		有益でない	あまり有益でない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	どちらかと言えば平易	無回答	
全体	568 100.0%	5 0.9%	7 1.2%	167 29.4%	380 66.9%	9 1.6%	76 13.4%	292 51.4%	133 23.4%	51 9.0%	16 2.8%	
Q1)1-4 認知症の経験年数	10年未満	104 100.0%	1 1.0%	1 1.0%	29 27.9%	70 67.3%	3 2.9%	10 9.6%	55 52.9%	23 22.1%	13 12.5%	3 2.9%
	10年以上～15年未満	219 100.0%	2 0.9%	1 0.5%	63 28.8%	149 68.0%	4 1.8%	28 12.8%	115 52.5%	56 25.6%	14 6.4%	6 2.7%
	15年以上～20年未満	124 100.0%	2 1.6%	2 1.6%	32 25.8%	88 71.0%	0 0.0%	16 12.9%	58 46.8%	37 29.8%	11 8.9%	2 1.6%
	20年以上	108 100.0%	0 0.0%	2 1.9%	37 34.3%	67 62.0%	2 1.9%	19 17.6%	59 54.6%	12 11.1%	13 12.0%	5 4.6%
	20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	0 0.0%	1 0.7%	36 26.9%	96 71.6%	1 0.7%	23 17.2%	64 47.8%	36 26.9%	8 6.0%	3 2.2%	
40歳代	234 100.0%	4 1.7%	3 1.3%	62 26.5%	159 67.9%	6 2.6%	32 13.7%	132 56.4%	50 21.4%	14 6.0%	6 2.6%	
50歳代	143 100.0%	0 0.0%	3 2.1%	50 35.0%	89 62.2%	1 0.7%	16 11.2%	75 52.4%	30 21.0%	18 12.6%	4 2.8%	
60歳以上	56 100.0%	1 1.8%	0 0.0%	19 33.9%	35 62.5%	1 1.8%	4 7.1%	21 37.5%	17 30.4%	11 19.6%	3 5.4%	
Q1)1-2 職種	看護職	352 100.0%	4 1.1%	6 1.7%	109 31.0%	224 63.6%	9 2.6%	40 11.4%	180 51.1%	90 25.6%	31 8.8%	11 3.1%
	介護職	181 100.0%	1 0.6%	1 0.6%	46 25.4%	133 73.5%	0 0.0%	33 18.2%	90 49.7%	38 21.0%	17 9.4%	3 1.7%
	社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 41.7%	7 58.3%	0 0.0%	1 8.3%	9 75.0%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%
	その他	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 27.3%	16 72.7%	0 0.0%	2 9.1%	13 59.1%	4 18.2%	2 9.1%	1 4.5%
	病院・診療所	154 100.0%	0 0.0%	2 1.3%	38 24.7%	113 73.4%	1 0.6%	19 12.3%	74 48.1%	44 28.6%	16 10.4%	1 0.6%
Q1)1-3 所属の施設・部署	介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	0 0.0%	1 0.9%	27 23.9%	84 74.3%	1 0.9%	16 14.2%	49 43.4%	26 23.0%	17 15.0%	5 4.4%
	訪問看護ステーション	69 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 23.2%	52 75.4%	1 1.4%	11 15.9%	36 52.2%	16 23.2%	4 5.8%	2 2.9%
	他の在宅サービス	97 100.0%	3 3.1%	3 3.1%	43 44.3%	44 45.4%	4 4.1%	13 13.4%	54 55.7%	22 22.7%	4 4.1%	4 4.1%
	その他	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 27.5%	36 70.6%	1 2.0%	8 15.7%	31 60.8%	8 15.7%	3 5.9%	1 2.0%
	その他	82 100.0%	1 1.2%	1 1.2%	29 35.4%	50 61.0%	1 1.2%	9 11.0%	47 57.3%	17 20.7%	6 7.3%	3 3.7%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-63 ヒト/重度：尿意のサインをとらえてトルへ誘導する					Q2)2-63 実施/重度：尿意のサインをとらえてトルへ誘導する				
		有益でいい	あまりない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	どちらかと言えば平易	無回答
全体	568 100.0%	2 0.4%	16 2.8%	176 31.0%	367 64.6%	7 1.2%	73 12.9%	291 51.2%	147 25.9%	46 8.1%	11 1.9%
Q1)1-4 認知症がの経験年数											
10年未満	104 100.0%	0 0.0%	1 1.0%	33 31.7%	69 66.3%	1 1.0%	13 12.5%	53 51.0%	28 26.9%	9 8.7%	1 1.0%
10年以上～15年未満	219 100.0%	1 0.5%	7 3.2%	64 29.2%	143 65.3%	4 1.8%	28 12.8%	116 53.0%	55 25.1%	14 6.4%	6 2.7%
15年以上～20年未満	124 100.0%	1 0.8%	5 4.0%	37 29.8%	81 65.3%	0 0.0%	13 10.5%	60 48.4%	38 30.6%	13 10.5%	0 0.0%
20年以上	108 100.0%	0 0.0%	2 1.9%	37 34.3%	67 62.0%	2 1.9%	18 16.7%	53 49.1%	23 21.3%	10 9.3%	4 3.7%
Q1)1-6 年齢											
20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	0 0.0%	5 3.7%	44 32.8%	84 62.7%	1 0.7%	26 19.4%	67 50.0%	35 26.1%	5 3.7%	1 0.7%
40歳代	234 100.0%	2 0.9%	5 2.1%	63 26.9%	160 68.4%	4 1.7%	29 12.4%	128 54.7%	58 24.8%	15 6.4%	4 1.7%
50歳代	143 100.0%	0 0.0%	5 3.5%	51 35.7%	86 60.1%	1 0.7%	13 9.1%	71 49.7%	40 28.0%	16 11.2%	3 2.1%
60歳以上	56 100.0%	0 0.0%	1 1.8%	18 32.1%	36 64.3%	1 1.8%	4 7.1%	25 44.6%	14 25.0%	10 17.9%	3 5.4%
Q1)1-2 職種											
看護職	352 100.0%	2 0.6%	10 2.8%	114 32.4%	219 62.2%	7 2.0%	37 10.5%	181 51.4%	92 26.1%	32 9.1%	10 2.8%
介護職	181 100.0%	0 0.0%	6 3.3%	51 28.2%	124 68.5%	0 0.0%	32 17.7%	87 48.1%	50 27.6%	11 6.1%	1 0.6%
社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%	8 66.7%	0 0.0%	2 16.7%	9 75.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
その他	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 27.3%	16 72.7%	0 0.0%	2 9.1%	14 63.6%	3 13.6%	3 13.6%	0 0.0%
Q1)1-3 所属の施設・部署											
病院・診療所	154 100.0%	0 0.0%	2 1.3%	47 30.5%	104 67.5%	1 0.6%	19 12.3%	74 48.1%	45 29.2%	15 9.7%	1 0.6%
介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	0 0.0%	4 3.5%	25 22.1%	84 74.3%	0 0.0%	17 15.0%	55 48.7%	28 24.8%	12 10.6%	1 0.9%
訪問看護ステーション	69 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 26.1%	51 73.9%	0 0.0%	9 13.0%	35 50.7%	19 27.5%	5 7.2%	1 1.4%
他の在宅サービス	97 100.0%	2 2.1%	5 5.2%	40 41.2%	47 48.5%	3 3.1%	9 9.3%	54 55.7%	24 24.7%	6 6.2%	4 4.1%
その他	51 100.0%	0 0.0%	1 2.0%	16 31.4%	33 64.7%	1 2.0%	9 17.6%	30 58.8%	8 15.7%	3 5.9%	1 2.0%
	82 100.0%	0 0.0%	4 4.9%	30 36.6%	46 56.1%	2 2.4%	10 12.2%	42 51.2%	22 26.8%	5 6.1%	3 3.7%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-64 ヒト/重度：いきむことができない時は、本人の握りこぶしをお腹に当てて、ゆっくりと圧迫する				Q2)2-64 実施/重度：いきむことができない時は、本人の握りこぶしをお腹に当ててゆっくりと圧迫する						
		有益でない	あまり有益でない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	無回答		
	全体	568 100.0%	13 2.3%	111 19.5%	298 52.5%	133 23.4%	13 2.3%	44 7.7%	274 48.2%	192 33.8%	45 7.9%	13 2.3%
Q1)1-4 認知症の経験年数	10年未満	104 100.0%	3 2.9%	19 18.3%	59 56.7%	20 19.2%	3 2.9%	5 4.8%	48 46.2%	44 42.3%	6 5.8%	1 1.0%
	10年以上～15年未満	219 100.0%	3 1.4%	41 18.7%	122 55.7%	48 21.9%	5 2.3%	17 7.8%	112 51.1%	73 33.3%	12 5.5%	5 2.3%
	15年以上～20年未満	124 100.0%	4 3.2%	29 23.4%	55 44.4%	33 26.6%	3 2.4%	14 11.3%	54 43.5%	40 32.3%	13 10.5%	3 2.4%
	20年以上	108 100.0%	3 2.8%	18 16.7%	55 50.9%	30 27.8%	2 1.9%	7 6.5%	50 46.3%	34 31.5%	13 12.0%	4 3.7%
	20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
Q1)1-6 年齢	30歳代	134 100.0%	6 4.5%	30 22.4%	70 52.2%	26 19.4%	2 1.5%	18 13.4%	67 50.0%	41 30.6%	6 4.5%	2 1.5%
	40歳代	234 100.0%	5 2.1%	44 18.8%	123 52.6%	56 23.9%	6 2.6%	16 6.8%	119 50.9%	78 33.3%	16 6.8%	5 2.1%
	50歳代	143 100.0%	1 0.7%	29 20.3%	74 51.7%	34 23.8%	5 3.5%	7 4.9%	61 42.7%	55 38.5%	15 10.5%	5 3.5%
	60歳以上	56 100.0%	1 1.8%	8 14.3%	30 53.6%	17 30.4%	0 0.0%	3 5.4%	26 46.4%	18 32.1%	8 14.3%	1 1.8%
	看護職	352 100.0%	10 2.8%	66 18.8%	185 52.6%	82 23.3%	9 2.6%	24 6.8%	171 48.6%	117 33.2%	32 9.1%	8 2.3%
	介護職	181 100.0%	3 1.7%	38 21.0%	94 51.9%	42 23.2%	4 2.2%	17 9.4%	86 47.5%	63 34.8%	10 5.5%	5 2.8%
Q1)1-2 職種	社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	2 16.7%	6 50.0%	4 33.3%	0 0.0%	1 8.3%	7 58.3%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	22 100.0%	0 0.0%	5 22.7%	12 54.5%	5 22.7%	0 0.0%	2 9.1%	10 45.5%	8 36.4%	2 9.1%	0 0.0%
	病院・診療所	154 100.0%	3 1.9%	29 18.8%	81 52.6%	39 25.3%	2 1.3%	9 5.8%	77 50.0%	52 33.8%	15 9.7%	1 0.6%
	介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	1 0.9%	29 25.7%	49 43.4%	31 27.4%	3 2.7%	9 8.0%	52 46.0%	35 31.0%	13 11.5%	4 3.5%
Q1)1-3 所属の施設・部署	訪問看護ステーション	69 100.0%	3 4.3%	11 15.9%	41 59.4%	14 20.3%	0 0.0%	4 5.8%	34 49.3%	27 39.1%	3 4.3%	1 1.4%
	他の在宅サービス	51 100.0%	1 2.0%	8 15.7%	29 56.9%	12 23.5%	1 2.0%	10 19.6%	25 49.0%	13 25.5%	2 3.9%	1 2.0%
	その他	82 100.0%	2 2.4%	13 15.9%	48 58.5%	16 19.5%	3 3.7%	5 6.1%	40 48.8%	28 34.1%	7 8.5%	2 2.4%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-68 ヒト/重度：男性については、洋式トイレの便座に腰かけて排尿できるようにする				Q2)2-68 実施/重度：男性については、洋式トイレの便座に腰かけて排尿できるようにする					
		有益でない	あまりない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	無回答	
全体	568 100.0%	39 6.9%	187 32.9%	252 44.4%	80 14.1%	10 1.8%	54 9.5%	293 51.6%	166 29.2%	42 7.4%	13 2.3%
Q1)1-4 認知症の経験年数											
10年未満	104 100.0%	5 4.8%	29 27.9%	45 43.3%	23 22.1%	2 1.9%	3 2.9%	47 45.2%	39 37.5%	13 12.5%	2 1.9%
10年以上～15年未満	219 100.0%	20 9.1%	76 34.7%	99 45.2%	20 9.1%	4 1.8%	26 11.9%	123 56.2%	55 25.1%	11 5.0%	4 1.8%
15年以上～20年未満	124 100.0%	9 7.3%	43 34.7%	54 43.5%	16 12.9%	2 1.6%	11 8.9%	64 51.6%	39 31.5%	9 7.3%	1 0.8%
20年以上	108 100.0%	5 4.6%	35 32.4%	47 43.5%	19 17.6%	2 1.9%	14 13.0%	53 49.1%	26 24.1%	9 8.3%	6 5.6%
Q1)1-6 年齢											
20歳代	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	11 8.2%	40 29.9%	64 47.8%	17 12.7%	2 1.5%	11 8.2%	63 47.0%	45 33.6%	12 9.0%	3 2.2%
40歳代	234 100.0%	16 6.8%	81 34.6%	103 44.0%	28 12.0%	6 2.6%	22 9.4%	130 55.6%	64 27.4%	13 5.6%	5 2.1%
50歳代	143 100.0%	8 5.6%	46 32.2%	65 45.5%	22 15.4%	2 1.4%	13 9.1%	74 51.7%	40 28.0%	13 9.1%	3 2.1%
60歳以上	56 100.0%	3 5.4%	20 35.7%	20 35.7%	13 23.2%	0 0.0%	8 14.3%	26 46.4%	16 28.6%	4 7.1%	2 3.6%
Q1)1-2 職種											
看護職	352 100.0%	21 6.0%	125 35.5%	152 43.2%	47 13.4%	7 2.0%	32 9.1%	170 48.3%	115 32.7%	26 7.4%	9 2.6%
介護職	181 100.0%	15 8.3%	53 29.3%	83 45.9%	27 14.9%	3 1.7%	20 11.0%	100 55.2%	45 24.9%	12 6.6%	4 2.2%
社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	8 66.7%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 83.3%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%
その他	22 100.0%	3 13.6%	7 31.8%	9 40.9%	3 13.6%	0 0.0%	2 9.1%	12 54.5%	5 22.7%	3 13.6%	0 0.0%
Q1)1-3 所属の施設・部署											
病院・診療所	154 100.0%	7 4.5%	50 32.5%	68 44.2%	27 17.5%	2 1.3%	11 7.1%	73 47.4%	54 35.1%	13 8.4%	3 1.9%
介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	8 7.1%	36 31.9%	48 42.5%	19 16.8%	2 1.8%	10 8.8%	61 54.0%	28 24.8%	12 10.6%	2 1.8%
訪問看護ステーション	69 100.0%	4 5.8%	17 24.6%	39 56.5%	9 13.0%	0 0.0%	8 11.6%	41 59.4%	17 24.6%	2 2.9%	1 1.4%
他の在宅サービス	97 100.0%	6 6.2%	39 40.2%	39 40.2%	10 10.3%	3 3.1%	10 10.3%	48 49.5%	31 32.0%	5 5.2%	3 3.1%
その他	51 100.0%	9 17.6%	12 23.5%	21 41.2%	8 15.7%	1 2.0%	8 15.7%	27 52.9%	11 21.6%	3 5.9%	2 3.9%
その他	82 100.0%	5 6.1%	31 37.8%	37 45.1%	7 8.5%	2 2.4%	6 7.3%	42 51.2%	25 30.5%	7 8.5%	2 2.4%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-78 ヒト/重度：口を開けない時は、ほほから口元へやさしくマッパージして自分から口を開けられるようにする			Q2)2-78 実施/重度：口を開けない時は、ほほから口元へやさしくマッパージして自分から口を開けられるようにする							
		有益でない	あまり有益でない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	どちらかと言えば平易	無回答	
全体	568 100.0%	10 1.8%	99 17.4%	298 52.5%	154 27.1%	7 1.2%	66 11.6%	271 47.7%	167 29.4%	55 9.7%	9 1.6%	
Q1)1-4 認知症の経験年数	10年未満	104 100.0%	1 1.0%	21 20.2%	50 48.1%	31 29.8%	1 1.0%	9 8.7%	52 50.0%	30 28.8%	12 11.5%	1 1.0%
	10年以上～15年未満	219 100.0%	5 2.3%	42 19.2%	114 52.1%	54 24.7%	4 1.8%	29 13.2%	103 47.0%	65 29.7%	18 8.2%	4 1.8%
	15年以上～20年未満	124 100.0%	2 1.6%	18 14.5%	65 52.4%	38 30.6%	1 0.8%	14 11.3%	55 44.4%	41 33.1%	13 10.5%	1 0.8%
	20年以上	108 100.0%	2 1.9%	16 14.8%	60 55.6%	29 26.9%	1 0.9%	14 13.0%	51 47.2%	28 25.9%	12 11.1%	3 2.8%
	20歳代	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
Q1)1-6 年齢	30歳代	134 100.0%	2 1.5%	25 18.7%	74 55.2%	31 23.1%	2 1.5%	14 10.4%	70 52.2%	42 31.3%	6 4.5%	2 1.5%
	40歳代	234 100.0%	3 1.3%	39 16.7%	123 52.6%	65 27.8%	4 1.7%	32 13.7%	115 49.1%	62 26.5%	21 9.0%	4 1.7%
	50歳代	143 100.0%	3 2.1%	24 16.8%	72 50.3%	43 30.1%	1 0.7%	12 8.4%	66 46.2%	44 30.8%	19 13.3%	2 1.4%
	60歳以上	56 100.0%	2 3.6%	10 17.9%	29 51.8%	15 26.8%	0 0.0%	8 14.3%	19 33.9%	19 33.9%	9 16.1%	1 1.8%
	看護職	352 100.0%	7 2.0%	62 17.6%	174 49.4%	103 29.3%	6 1.7%	33 9.4%	165 46.9%	106 30.1%	41 11.6%	7 2.0%
Q1)1-2 職種	介護職	181 100.0%	3 1.7%	31 17.1%	103 56.9%	43 23.8%	1 0.6%	28 15.5%	88 48.6%	53 29.3%	10 5.5%	2 1.1%
	社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	2 16.7%	7 58.3%	3 25.0%	0 0.0%	3 25.0%	6 50.0%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	22 100.0%	0 0.0%	4 18.2%	13 59.1%	5 22.7%	0 0.0%	2 9.1%	12 54.5%	5 22.7%	3 13.6%	0 0.0%
	病院・診療所	154 100.0%	1 0.6%	26 16.9%	74 48.1%	52 33.8%	1 0.6%	12 7.8%	83 53.9%	43 27.9%	15 9.7%	1 0.6%
	介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	1 0.9%	15 13.3%	63 55.8%	33 29.2%	1 0.9%	16 14.2%	46 40.7%	34 30.1%	15 13.3%	2 1.8%
Q1)1-3 所属の施設・部署	訪問看護ステーション	69 100.0%	1 1.4%	14 20.3%	38 55.1%	16 23.2%	0 0.0%	10 14.5%	35 50.7%	18 26.1%	5 7.2%	1 1.4%
	他の在宅サービス	97 100.0%	4 4.1%	19 19.6%	49 50.5%	22 22.7%	3 3.1%	13 13.4%	38 39.2%	33 34.0%	10 10.3%	3 3.1%
	その他	51 100.0%	3 5.9%	6 11.8%	28 54.9%	13 25.5%	1 2.0%	8 15.7%	21 41.2%	18 35.3%	3 5.9%	1 2.0%
	82 100.0%	0 0.0%	18 22.0%	45 54.9%	18 22.0%	1 1.2%	6 7.3%	47 57.3%	21 25.6%	7 8.5%	1 1.2%	

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-81 ヒト/重度：口を開けるまで時間を要する時は、本人のケイシングに合わせて食べ物を口に合 んでもらう					Q2)2-81 実施/重度：口を開けるまで時間を要する時は、本人のケイシングに合わせて食べ物を口に合 んでもらう					
		有益で ない	あまり ない	やや ある	有益 である	無 回答	困難	ど ちら か 困 難	ど ちら か 平 易	ど ちら か 平 易	無 回 答	
全体	568 100.0%	4 0.7%	28 4.9%	252 44.4%	278 48.9%	6 1.1%	51 9.0%	259 45.6%	173 30.5%	77 13.6%	8 1.4%	
Q1)1-4 認知 症の経験年 数	10年未満	104 100.0%	0 0.0%	5 4.8%	46 44.2%	52 50.0%	1 1.0%	5 4.8%	36 34.6%	12 11.5%	1 1.0%	
	10年以上～15年未 満	219 100.0%	1 0.5%	12 5.5%	99 45.2%	103 47.0%	4 1.8%	23 10.5%	101 46.1%	27 12.3%	4 1.8%	
	15年以上～20年未 満	124 100.0%	3 2.4%	6 4.8%	51 41.1%	64 51.6%	0 0.0%	8 6.5%	56 45.2%	39 31.5%	21 16.9%	0 0.0%
	20年以上	108 100.0%	0 0.0%	5 4.6%	46 42.6%	56 51.9%	1 0.9%	14 13.0%	43 39.8%	31 28.7%	17 15.7%	3 2.8%
	20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	1 0.7%	5 3.7%	64 47.8%	63 47.0%	1 0.7%	10 7.5%	70 52.2%	37 27.6%	16 11.9%	1 0.7%	
40歳代	234 100.0%	2 0.9%	14 6.0%	99 42.3%	115 49.1%	4 1.7%	23 9.8%	115 49.1%	68 29.1%	24 10.3%	4 1.7%	
50歳代	143 100.0%	0 0.0%	5 3.5%	67 46.9%	70 49.0%	1 0.7%	14 9.8%	52 36.4%	54 37.8%	21 14.7%	2 1.4%	
60歳以上	56 100.0%	1 1.8%	4 7.1%	21 37.5%	30 53.6%	0 0.0%	4 7.1%	21 37.5%	14 25.0%	16 28.6%	1 1.8%	
Q1)1-2 職種	看護職	352 100.0%	2 0.6%	21 6.0%	167 47.4%	156 44.3%	6 1.7%	32 9.1%	160 45.5%	107 30.4%	46 13.1%	7 2.0%
	介護職	181 100.0%	2 1.1%	6 3.3%	72 39.8%	101 55.8%	0 0.0%	17 9.4%	82 45.3%	54 29.8%	27 14.9%	1 0.6%
	社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	3 25.0%	8 66.7%	0 0.0%	2 16.7%	6 50.0%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%
	その他	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 45.5%	12 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	11 50.0%	8 36.4%	3 13.6%	0 0.0%
	病院・診療所	154 100.0%	0 0.0%	7 4.5%	65 42.2%	81 52.6%	1 0.6%	10 6.5%	74 48.1%	51 33.1%	18 11.7%	1 0.6%
Q1)1-3 所属 の施設・部署	介護老人福祉施 設・介護老人保健 グループホーム	113 100.0%	0 0.0%	2 1.8%	43 38.1%	68 60.2%	0 0.0%	8 7.1%	45 39.8%	32 28.3%	27 23.9%	1 0.9%
	訪問看護ステー ション	69 100.0%	0 0.0%	2 2.9%	32 46.4%	35 50.7%	0 0.0%	9 13.0%	29 42.0%	20 29.0%	10 14.5%	1 1.4%
	他の在宅サービ ス	97 100.0%	2 2.1%	10 10.3%	53 54.6%	29 29.9%	3 3.1%	14 14.4%	45 46.4%	26 26.8%	9 9.3%	3 3.1%
	その他	51 100.0%	2 3.9%	2 3.9%	20 39.2%	26 51.0%	1 2.0%	3 5.9%	27 52.9%	17 33.3%	3 5.9%	1 2.0%
	その他	82 100.0%	0 0.0%	5 6.1%	39 47.6%	37 45.1%	1 1.2%	7 8.5%	38 46.3%	26 31.7%	10 12.2%	1 1.2%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-82 ヒト/重度：いつまでも飲み込まない時は、箸やスプーンなどを口元に運ぶことで、飲み込むことを促す			Q2)2-82 実施/重度：いつまでも飲み込まない時は、箸やスプーンなどを口元に運ぶことで、飲み込むことを促す							
		有益でない	あまり有益でない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	無回答		
	全体	568 100.0%	18 3.2%	149 26.2%	296 52.1%	92 16.2%	13 2.3%	48 8.5%	236 41.5%	203 35.7%	64 11.3%	17 3.0%
Q1)1-4 認知症の経験年数	10年未満	104 100.0%	1 1.0%	28 26.9%	50 48.1%	23 22.1%	2 1.9%	6 5.8%	51 49.0%	31 29.8%	14 13.5%	2 1.9%
	10年以上～15年未満	219 100.0%	12 5.5%	51 23.3%	124 56.6%	26 11.9%	6 2.7%	23 10.5%	89 40.6%	77 35.2%	23 10.5%	7 3.2%
	15年以上～20年未満	124 100.0%	2 1.6%	42 33.9%	53 42.7%	24 19.4%	3 2.4%	9 7.3%	49 39.5%	49 39.5%	14 11.3%	3 2.4%
	20年以上	108 100.0%	3 2.8%	24 22.2%	62 57.4%	17 15.7%	2 1.9%	10 9.3%	40 37.0%	41 38.0%	12 11.1%	5 4.6%
	20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
Q1)1-6 年齢	30歳代	134 100.0%	4 3.0%	37 27.6%	68 50.7%	20 14.9%	5 3.7%	14 10.4%	51 38.1%	51 38.1%	12 9.0%	6 4.5%
	40歳代	234 100.0%	8 3.4%	50 21.4%	135 57.7%	35 15.0%	6 2.6%	18 7.7%	109 46.6%	82 35.0%	19 8.1%	6 2.6%
	50歳代	143 100.0%	4 2.8%	44 30.8%	68 47.6%	26 18.2%	1 0.7%	12 8.4%	54 37.8%	51 35.7%	24 16.8%	2 1.4%
	60歳以上	56 100.0%	2 3.6%	18 32.1%	24 42.9%	11 19.6%	1 1.8%	4 7.1%	21 37.5%	19 33.9%	9 16.1%	3 5.4%
	看護職	352 100.0%	10 2.8%	95 27.0%	177 50.3%	60 17.0%	10 2.8%	28 8.0%	149 42.3%	119 33.8%	45 12.8%	11 3.1%
Q1)1-2 職種	介護職	181 100.0%	7 3.9%	46 25.4%	99 54.7%	27 14.9%	2 1.1%	19 10.5%	72 39.8%	69 38.1%	16 8.8%	5 2.8%
	社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	3 25.0%	5 41.7%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 41.7%	5 41.7%	2 16.7%	0 0.0%
	その他	22 100.0%	1 4.5%	5 22.7%	14 63.6%	1 4.5%	1 4.5%	1 4.5%	10 45.5%	9 40.9%	1 4.5%	1 4.5%
	病院・診療所	154 100.0%	2 1.3%	40 26.0%	72 46.8%	37 24.0%	3 1.9%	12 7.8%	66 42.9%	52 33.8%	21 13.6%	3 1.9%
	介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	5 4.4%	24 21.2%	64 56.6%	18 15.9%	2 1.8%	11 9.7%	38 33.6%	45 39.8%	15 13.3%	4 3.5%
Q1)1-3 所属の施設・部署	訪問看護ステーション	69 100.0%	3 4.3%	16 23.2%	38 55.1%	10 14.5%	2 2.9%	10 14.5%	31 44.9%	20 29.0%	5 7.2%	3 4.3%
	他の在宅サービス	97 100.0%	5 5.2%	30 30.9%	51 52.6%	9 9.3%	2 2.1%	8 8.2%	42 43.3%	37 38.1%	8 8.2%	2 2.1%
	その他	51 100.0%	1 2.0%	14 27.5%	28 54.9%	7 13.7%	1 2.0%	1 2.0%	23 45.1%	20 39.2%	6 11.8%	1 2.0%
	その他	82 100.0%	2 2.4%	24 29.3%	42 51.2%	11 13.4%	3 3.7%	6 7.3%	34 41.5%	29 35.4%	9 11.0%	4 4.9%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-89 ヒト/重度：飲み込まず口にためてしま う時は、喉や口角を軽く圧迫刺激する				Q2)2-89 実施/重度：飲み込まず口にためてしま う時は、喉や口角を軽く圧迫刺激する						
		有益で ない	あまり 有益 でない	やや 有益 である	有益 である	困難 困難	どちらか と言え ば 困難	どちらか と言え ば 平易	無回答			
全体	568 100.0%	13 2.3%	105 18.5%	305 53.7%	131 23.1%	14 2.5%	52 9.2%	238 41.9%	201 35.4%	58 10.2%	19 3.3%	
Q1)1-4 認知 症がの経験年 数	10年未満	104 100.0%	0 0.0%	18 17.3%	57 54.8%	27 26.0%	2 1.9%	4 3.8%	50 48.1%	29 27.9%	18 17.3%	3 2.9%
	10年以上～15年未 満	219 100.0%	6 2.7%	41 18.7%	121 55.3%	44 20.1%	7 3.2%	20 9.1%	86 39.3%	90 41.1%	15 6.8%	8 3.7%
	15年以上～20年未 満	124 100.0%	5 4.0%	23 18.5%	61 49.2%	32 25.8%	3 2.4%	14 11.3%	48 38.7%	45 36.3%	14 11.3%	3 2.4%
	20年以上	108 100.0%	2 1.9%	20 18.5%	57 52.8%	27 25.0%	2 1.9%	13 12.0%	46 42.6%	33 30.6%	11 10.2%	5 4.6%
	20歳代	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	1 0.7%	29 21.6%	70 52.2%	29 21.6%	5 3.7%	12 9.0%	53 39.6%	50 37.3%	13 9.7%	6 4.5%	
40歳代	234 100.0%	6 2.6%	45 19.2%	128 54.7%	50 21.4%	5 2.1%	27 11.5%	108 46.2%	75 32.1%	18 7.7%	6 2.6%	
50歳代	143 100.0%	4 2.8%	22 15.4%	76 53.1%	38 26.6%	3 2.1%	8 5.6%	59 41.3%	53 37.1%	19 13.3%	4 2.8%	
60歳以上	56 100.0%	2 3.6%	8 14.3%	31 55.4%	14 25.0%	1 1.8%	4 7.1%	18 32.1%	23 41.1%	8 14.3%	3 5.4%	
Q1)1-2 職種	看護職	352 100.0%	6 1.7%	69 19.6%	187 53.1%	81 23.0%	9 2.6%	30 8.5%	149 42.3%	128 36.4%	34 9.7%	11 3.1%
	介護職	181 100.0%	6 3.3%	32 17.7%	97 53.6%	43 23.8%	3 1.7%	19 10.5%	77 42.5%	57 31.5%	23 12.7%	5 2.8%
	社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	2 16.7%	6 50.0%	4 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 41.7%	6 50.0%	1 8.3%	0 0.0%
	その他	22 100.0%	1 4.5%	1 4.5%	15 68.2%	3 13.6%	2 9.1%	2 9.1%	7 31.8%	10 45.5%	0 0.0%	3 13.6%
	病院・診療所	154 100.0%	2 1.3%	25 16.2%	82 53.2%	43 27.9%	2 1.3%	12 7.8%	67 43.5%	54 35.1%	18 11.7%	3 1.9%
Q1)1-3 所属 の施設・部署	介護老人福祉施 設・介護老人保健 グループホーム	113 100.0%	4 3.5%	14 12.4%	61 54.0%	32 28.3%	2 1.8%	12 10.6%	38 33.6%	39 34.5%	20 17.7%	4 3.5%
	訪問看護ステー ション	69 100.0%	2 2.9%	10 14.5%	44 63.8%	11 15.9%	2 2.9%	8 11.6%	31 44.9%	21 30.4%	5 7.2%	4 5.8%
	他の在宅サービ ス	97 100.0%	3 3.1%	29 29.9%	48 49.5%	15 15.5%	2 2.1%	10 10.3%	42 43.3%	39 40.2%	4 4.1%	2 2.1%
	その他	51 100.0%	1 2.0%	6 11.8%	32 62.7%	10 19.6%	2 3.9%	3 5.9%	23 45.1%	20 39.2%	4 7.8%	1 2.0%
	その他	82 100.0%	0 0.0%	21 25.6%	37 45.1%	20 24.4%	4 4.9%	6 7.3%	36 43.9%	28 34.1%	7 8.5%	5 6.1%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-103 ヒト/重度：事前に入浴の説明をすると嫌がる時は、浴室の近くに誘導してから入浴について説明する				Q2)2-103 実施/重度：事前に入浴の説明をする						
		有益でない	あまり有益でない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	無回答		
全体	568 100.0%	39 6.9%	218 38.4%	213 37.5%	83 14.6%	15 2.6%	46 8.1%	223 39.3%	206 36.3%	72 12.7%	21 3.7%	
Q1)1-4 認知症の経験年数	10年未満	104 100.0%	8 7.7%	37 35.6%	39 37.5%	17 16.3%	3 2.9%	9 8.7%	40 38.5%	34 32.7%	17 16.3%	4 3.8%
	10年以上～15年未満	219 100.0%	17 7.8%	93 42.5%	72 32.9%	30 13.7%	7 3.2%	22 10.0%	88 40.2%	75 34.2%	25 11.4%	9 4.1%
	15年以上～20年未満	124 100.0%	8 6.5%	43 34.7%	54 43.5%	17 13.7%	2 1.6%	9 7.3%	41 33.1%	59 47.6%	13 10.5%	2 1.6%
	20年以上	108 100.0%	6 5.6%	41 38.0%	43 39.8%	15 13.9%	3 2.8%	6 5.6%	49 45.4%	32 29.6%	15 13.9%	6 5.6%
	20歳代	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	6 4.5%	50 37.3%	52 38.8%	22 16.4%	4 3.0%	8 6.0%	45 33.6%	58 43.3%	16 11.9%	7 5.2%	
40歳代	234 100.0%	18 7.7%	98 41.9%	81 34.6%	31 13.2%	6 2.6%	23 9.8%	103 44.0%	78 33.3%	25 10.7%	5 2.1%	
50歳代	143 100.0%	13 9.1%	44 30.8%	62 43.4%	21 14.7%	3 2.1%	12 8.4%	50 35.0%	52 36.4%	24 16.8%	5 3.5%	
60歳以上	56 100.0%	1 1.8%	26 46.4%	18 32.1%	9 16.1%	2 3.6%	3 5.4%	25 44.6%	17 30.4%	7 12.5%	4 7.1%	
Q1)1-2 職種	看護職	352 100.0%	23 6.5%	130 36.9%	130 36.9%	57 16.2%	12 3.4%	24 6.8%	134 38.1%	126 35.8%	54 15.3%	14 4.0%
	介護職	181 100.0%	14 7.7%	72 39.8%	70 38.7%	23 12.7%	2 1.1%	21 11.6%	76 42.0%	63 34.8%	15 8.3%	6 3.3%
	社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	4 33.3%	7 58.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 50.0%	4 33.3%	2 16.7%	0 0.0%
	その他	22 100.0%	2 9.1%	11 50.0%	6 27.3%	2 9.1%	1 4.5%	1 4.5%	7 31.8%	12 54.5%	1 4.5%	1 4.5%
	病院・診療所	154 100.0%	8 5.2%	48 31.2%	59 38.3%	35 22.7%	4 2.6%	6 3.9%	57 37.0%	60 39.0%	28 18.2%	3 1.9%
Q1)1-3 所属の施設・部署	介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	6 5.3%	51 45.1%	40 35.4%	15 13.3%	1 0.9%	12 10.6%	39 34.5%	41 36.3%	17 15.0%	4 3.5%
	訪問看護ステーション	69 100.0%	4 5.8%	20 29.0%	32 46.4%	11 15.9%	2 2.9%	8 11.6%	29 42.0%	22 31.9%	7 10.1%	3 4.3%
	他の在宅サービス	97 100.0%	10 10.3%	42 43.3%	33 34.0%	9 9.3%	3 3.1%	13 13.4%	33 34.0%	36 37.1%	11 11.3%	4 4.1%
	その他	51 100.0%	4 7.8%	23 45.1%	19 37.3%	4 7.8%	1 2.0%	0 0.0%	31 60.8%	17 33.3%	2 3.9%	1 2.0%
	その他	82 100.0%	7 8.5%	33 40.2%	29 35.4%	9 11.0%	4 4.9%	6 7.3%	33 40.2%	30 36.6%	7 8.5%	6 7.3%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-125 ひと/重度：自分の意思を表現できるまで、ゆっくり待つ					Q2)2-125 実施/重度：自分の意思を表現できるまで、ゆっくり待つ				
		有益でない	あまりない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	平易	無回答
全体	568 100.0%	9 1.6%	47 8.3%	227 40.0%	277 48.8%	8 1.4%	58 10.2%	283 49.8%	148 26.1%	67 11.8%	12 2.1%
Q1)1-4 認知症の経験年数											
10年未満	104 100.0%	1 1.0%	8 7.7%	35 33.7%	58 55.8%	2 1.9%	9 8.7%	50 48.1%	29 27.9%	14 13.5%	2 1.9%
10年以上～15年未満	219 100.0%	4 1.8%	14 6.4%	94 42.9%	103 47.0%	4 1.8%	24 11.0%	116 53.0%	47 21.5%	28 12.8%	4 1.8%
15年以上～20年未満	124 100.0%	1 0.8%	13 10.5%	48 38.7%	61 49.2%	1 0.8%	10 8.1%	52 41.9%	46 37.1%	14 11.3%	2 1.6%
20年以上	108 100.0%	3 2.8%	10 9.3%	42 38.9%	52 48.1%	1 0.9%	15 13.9%	59 54.6%	20 18.5%	10 9.3%	4 3.7%
Q1)1-6 年齢											
20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	1 0.7%	10 7.5%	48 35.8%	72 53.7%	3 2.2%	12 9.0%	68 50.7%	36 26.9%	15 11.2%	3 2.2%
40歳代	234 100.0%	3 1.3%	20 8.5%	85 36.3%	123 52.6%	3 1.3%	25 10.7%	116 49.6%	63 26.9%	27 11.5%	3 1.3%
50歳代	143 100.0%	4 2.8%	7 4.9%	67 46.9%	64 44.8%	1 0.7%	16 11.2%	65 45.5%	38 26.6%	21 14.7%	3 2.1%
60歳以上	56 100.0%	1 1.8%	10 17.9%	27 48.2%	17 30.4%	1 1.8%	4 7.1%	34 60.7%	11 19.6%	4 7.1%	3 5.4%
Q1)1-2 職種											
看護職	352 100.0%	5 1.4%	30 8.5%	144 40.9%	168 47.7%	5 1.4%	32 9.1%	169 48.0%	98 27.8%	46 13.1%	7 2.0%
介護職	181 100.0%	3 1.7%	16 8.8%	72 39.8%	88 48.6%	2 1.1%	24 13.3%	94 51.9%	42 23.2%	17 9.4%	4 2.2%
社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	3 25.0%	8 66.7%	0 0.0%	1 8.3%	9 75.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
その他	22 100.0%	1 4.5%	0 0.0%	8 36.4%	12 54.5%	1 4.5%	1 4.5%	10 45.5%	6 27.3%	4 18.2%	1 4.5%
Q1)1-3 所属の施設・部署											
病院・診療所	154 100.0%	4 2.6%	8 5.2%	51 33.1%	89 57.8%	2 1.3%	15 9.7%	74 48.1%	38 24.7%	24 15.6%	3 1.9%
介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	1 0.9%	13 11.5%	40 35.4%	58 51.3%	1 0.9%	10 8.8%	56 49.6%	30 26.5%	14 12.4%	3 2.7%
訪問看護ステーション	69 100.0%	1 1.4%	4 5.8%	30 43.5%	32 46.4%	2 2.9%	6 8.7%	37 53.6%	18 26.1%	5 7.2%	3 4.3%
他の在宅サービス	97 100.0%	1 1.0%	9 9.3%	49 50.5%	37 38.1%	1 1.0%	10 10.3%	44 45.4%	31 32.0%	11 11.3%	1 1.0%
その他	51 100.0%	2 3.9%	4 7.8%	23 45.1%	21 41.2%	1 2.0%	8 15.7%	32 62.7%	8 15.7%	2 3.9%	1 2.0%
	82 100.0%	0 0.0%	8 9.8%	33 40.2%	40 48.8%	1 1.2%	8 9.8%	39 47.6%	23 28.0%	11 13.4%	1 1.2%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-126 ひと/重度：気持ち悪い、そのような気持ちであるかを問う				Q2)2-126 実施/重度：気持ちを察し、そのような気持ちであるかを問う					
		有益でない	あまり有益でない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	無回答	
全体	568 100.0%	4 0.7%	34 6.0%	270 47.5%	252 44.4%	8 1.4%	70 12.3%	242 42.6%	180 31.7%	63 11.1%	13 2.3%
Q1)1-4 認知症の経験年数											
10年未満	104 100.0%	0 0.0%	6 5.8%	36 34.6%	60 57.7%	2 1.9%	9 8.7%	43 41.3%	36 34.6%	14 13.5%	2 1.9%
10年以上～15年未満	219 100.0%	3 1.4%	12 5.5%	111 50.7%	89 40.6%	4 1.8%	30 13.7%	108 49.3%	53 24.2%	24 11.0%	4 1.8%
15年以上～20年未満	124 100.0%	0 0.0%	8 6.5%	61 49.2%	54 43.5%	1 0.8%	15 12.1%	40 32.3%	52 41.9%	14 11.3%	3 2.4%
20年以上	108 100.0%	1 0.9%	7 6.5%	53 49.1%	46 42.6%	1 0.9%	16 14.8%	46 42.6%	32 29.6%	10 9.3%	4 3.7%
Q1)1-6 年齢											
20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	0 0.0%	7 5.2%	53 39.6%	71 53.0%	3 2.2%	20 14.9%	56 41.8%	41 30.6%	13 9.7%	4 3.0%
40歳代	234 100.0%	1 0.4%	14 6.0%	106 45.3%	110 47.0%	3 1.3%	31 13.2%	105 44.9%	69 29.5%	26 11.1%	3 1.3%
50歳代	143 100.0%	2 1.4%	8 5.6%	79 55.2%	53 37.1%	1 0.7%	15 10.5%	56 39.2%	49 34.3%	20 14.0%	3 2.1%
60歳以上	56 100.0%	1 1.8%	5 8.9%	32 57.1%	17 30.4%	1 1.8%	3 5.4%	25 44.6%	21 37.5%	4 7.1%	3 5.4%
Q1)1-2 職種											
看護職	352 100.0%	2 0.6%	22 6.3%	175 49.7%	148 42.0%	5 1.4%	36 10.2%	147 41.8%	119 33.8%	43 12.2%	7 2.0%
介護職	181 100.0%	2 1.1%	10 5.5%	83 45.9%	84 46.4%	2 1.1%	29 16.0%	82 45.3%	51 28.2%	14 7.7%	5 2.8%
社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	4 33.3%	7 58.3%	0 0.0%	3 25.0%	6 50.0%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%
その他	22 100.0%	0 0.0%	1 4.5%	8 36.4%	12 54.5%	1 4.5%	2 9.1%	7 31.8%	7 31.8%	5 22.7%	1 4.5%
Q1)1-3 所属の施設・部署											
病院・診療所	154 100.0%	0 0.0%	9 5.8%	61 39.6%	82 53.2%	2 1.3%	15 9.7%	67 43.5%	46 29.9%	23 14.9%	3 1.9%
介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	1 0.9%	7 6.2%	49 43.4%	54 47.8%	1 0.9%	20 17.7%	38 33.6%	40 35.4%	11 9.7%	4 3.5%
訪問看護ステーション	69 100.0%	2 2.9%	5 7.2%	33 47.8%	27 39.1%	2 2.9%	8 11.6%	33 47.8%	18 26.1%	7 10.1%	3 4.3%
他の在宅サービス	97 100.0%	1 1.0%	6 6.2%	61 62.9%	28 28.9%	1 1.0%	9 9.3%	39 40.2%	36 37.1%	12 12.4%	1 1.0%
その他	51 100.0%	0 0.0%	3 5.9%	23 45.1%	24 47.1%	1 2.0%	9 17.6%	26 51.0%	13 25.5%	2 3.9%	1 2.0%
	82 100.0%	0 0.0%	3 3.7%	41 50.0%	37 45.1%	1 1.2%	8 9.8%	39 47.6%	26 31.7%	8 9.8%	1 1.2%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-127 ヒント/重度：本人の言葉が出やすいリスラムで話しかける					Q2)2-127 実施/重度：本人の言葉が出やすいリスラムで話しかける					
		有益でない	あまりない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	平易	無回答	
全体	568 100.0%	3 0.5%	20 3.5%	246 43.3%	291 51.2%	8 1.4%	67 11.8%	252 44.4%	170 29.9%	68 12.0%	11 1.9%	
Q1)1-4 認知症の経験年数	10年未満	104 100.0%	0 0.0%	5 4.8%	39 37.5%	58 55.8%	2 1.9%	9 8.7%	47 45.2%	32 30.8%	14 13.5%	2 1.9%
	10年以上～15年未満	219 100.0%	2 0.9%	6 2.7%	99 45.2%	108 49.3%	4 1.8%	27 12.3%	107 48.9%	55 25.1%	26 11.9%	4 1.8%
	15年以上～20年未満	124 100.0%	0 0.0%	5 4.0%	55 44.4%	64 51.6%	0 0.0%	17 13.7%	43 34.7%	49 39.5%	14 11.3%	1 0.8%
	20年以上	108 100.0%	1 0.9%	4 3.7%	44 40.7%	57 52.8%	2 1.9%	14 13.0%	49 45.4%	28 25.9%	13 12.0%	4 3.7%
	20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	0 0.0%	6 4.5%	49 36.6%	77 57.5%	2 1.5%	25 18.7%	57 42.5%	38 28.4%	12 9.0%	2 1.5%	
40歳代	234 100.0%	1 0.4%	5 2.1%	100 42.7%	124 53.0%	4 1.7%	24 10.3%	113 48.3%	69 29.5%	25 10.7%	3 1.3%	
50歳代	143 100.0%	2 1.4%	5 3.5%	65 45.5%	70 49.0%	1 0.7%	15 10.5%	54 37.8%	45 31.5%	26 18.2%	3 2.1%	
60歳以上	56 100.0%	0 0.0%	4 7.1%	32 57.1%	19 33.9%	1 1.8%	2 3.6%	28 50.0%	18 32.1%	5 8.9%	3 5.4%	
Q1)1-2 職種	看護職	352 100.0%	1 0.3%	11 3.1%	161 45.7%	173 49.1%	6 1.7%	28 8.0%	155 44.0%	113 32.1%	49 13.9%	7 2.0%
	介護職	181 100.0%	2 1.1%	8 4.4%	69 38.1%	101 55.8%	1 0.6%	36 19.9%	79 43.6%	49 27.1%	14 7.7%	3 1.7%
	社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	7 58.3%	4 33.3%	0 0.0%	1 8.3%	8 66.7%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 40.9%	12 54.5%	1 4.5%	2 9.1%	10 45.5%	5 22.7%	4 18.2%	1 4.5%
	病院・診療所	154 100.0%	0 0.0%	4 2.6%	61 39.6%	87 56.5%	2 1.3%	14 9.1%	67 43.5%	48 31.2%	22 14.3%	3 1.9%
Q1)1-3 所属の施設・部署	介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	1 0.9%	1.8%	42 37.2%	68 60.2%	0 0.0%	16 14.2%	48 42.5%	34 30.1%	13 11.5%	2 1.8%
	訪問看護ステーション	69 100.0%	1 1.4%	5 7.2%	28 40.6%	33 47.8%	2 2.9%	13 18.8%	30 43.5%	17 24.6%	6 8.7%	3 4.3%
	他の在宅サービス	97 100.0%	1 1.0%	4 4.1%	49 50.5%	41 42.3%	2 2.1%	7 7.2%	39 40.2%	33 34.0%	17 17.5%	1 1.0%
	その他	51 100.0%	0 0.0%	0 2.0%	24 47.1%	25 49.0%	1 2.0%	10 19.6%	26 51.0%	12 23.5%	2 3.9%	1 2.0%
	その他	82 100.0%	0 0.0%	4 4.9%	40 48.8%	37 45.1%	1 1.2%	7 8.5%	41 50.0%	25 30.5%	8 9.8%	1 1.2%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-128 ひと/全：本人の言葉をささげずに時 間をかけて話を聞く					Q2)2-128 実施/全：本人の言葉をささげずに 時間をかけて話を聞く				
		有益で ない	あまりな い	やや有 益であ る	有益で ある	無回答	困難	どちらか と見え 易い	どちらか と見え 難い	どちらか と見え 易い	無回答
全体	568 100.0%	0 0.0%	12 2.1%	146 25.7%	408 71.8%	2 0.4%	57 10.0%	298 52.5%	141 24.8%	65 11.4%	7 1.2%
Q1)1-4 認知 症がの経験年 数											
10年未満	104 100.0%	0 0.0%	2 1.9%	24 23.1%	77 74.0%	1 1.0%	7 6.7%	53 51.0%	30 28.8%	13 12.5%	1 1.0%
10年以上～15年未 満	219 100.0%	0 0.0%	6 2.7%	57 26.0%	155 70.8%	1 0.5%	28 12.8%	121 55.3%	45 20.5%	22 10.0%	3 1.4%
15年以上～20年未 満	124 100.0%	0 0.0%	2 1.6%	28 22.6%	94 75.8%	0 0.0%	11 8.9%	58 46.8%	36 29.0%	18 14.5%	1 0.8%
20年以上	108 100.0%	0 0.0%	2 1.9%	30 27.8%	76 70.4%	0 0.0%	10 9.3%	59 54.6%	26 24.1%	11 10.2%	2 1.9%
Q1)1-6 年齢											
20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	0 0.0%	4 3.0%	33 24.6%	96 71.6%	1 0.7%	16 11.9%	70 52.2%	32 23.9%	14 10.4%	2 1.5%
40歳代	234 100.0%	0 0.0%	5 2.1%	60 25.6%	168 71.8%	1 0.4%	23 9.8%	128 54.7%	56 23.9%	25 10.7%	2 0.9%
50歳代	143 100.0%	0 0.0%	1 0.7%	40 28.0%	102 71.3%	0 0.0%	15 10.5%	71 49.7%	35 24.5%	21 14.7%	1 0.7%
60歳以上	56 100.0%	0 0.0%	2 3.6%	13 23.2%	41 73.2%	0 0.0%	2 3.6%	29 51.8%	18 32.1%	5 8.9%	2 3.6%
Q1)1-2 職種											
看護職	352 100.0%	0 0.0%	9 2.6%	96 27.3%	245 69.6%	2 0.6%	25 7.1%	181 51.4%	94 26.7%	46 13.1%	6 1.7%
介護職	181 100.0%	0 0.0%	2 1.1%	46 25.4%	133 73.5%	0 0.0%	29 16.0%	96 53.0%	39 21.5%	16 8.8%	1 0.6%
社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	10 83.3%	0 0.0%	1 8.3%	8 66.7%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%
その他	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.6%	19 86.4%	0 0.0%	2 9.1%	12 54.5%	6 27.3%	2 9.1%	0 0.0%
Q1)1-3 所属 の施設・部署											
病院・診療所	154 100.0%	0 0.0%	2 1.3%	34 22.1%	118 76.6%	0 0.0%	12 7.8%	76 49.4%	45 29.2%	20 13.0%	1 0.6%
介護老人福祉施 設・介護老人保健 グループホーム	113 100.0%	0 0.0%	2 1.8%	26 23.0%	85 75.2%	0 0.0%	11 9.7%	54 47.8%	30 26.5%	16 14.2%	2 1.8%
訪問看護ステ ーション	69 100.0%	0 0.0%	1 1.4%	15 21.7%	53 76.8%	0 0.0%	9 13.0%	39 56.5%	14 20.3%	6 8.7%	1 1.4%
他の在宅サー ビス	97 100.0%	0 0.0%	4 4.1%	31 32.0%	62 63.9%	0 0.0%	7 7.2%	53 54.6%	21 21.6%	15 15.5%	1 1.0%
その他	51 100.0%	0 0.0%	1 2.0%	13 25.5%	36 70.6%	1 2.0%	9 17.6%	29 56.9%	9 17.6%	3 5.9%	1 2.0%
その他	82 100.0%	0 0.0%	2 2.4%	26 31.7%	53 64.6%	1 1.2%	9 11.0%	46 56.1%	21 25.6%	5 6.1%	1 1.2%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-129 以/全：気の合う人と一緒に過ごせるよう環境を整える				Q2)2-129 実施/全：気の合う人と一緒に過ごせるよう環境を整える						
		有益でない	あまり有益でない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	無回答		
	568 100.0%	0 0.0%	4 0.7%	190 33.5%	371 65.3%	3 0.5%	33 5.8%	258 45.4%	203 35.7%	66 11.6%	8 1.4%	
Q1)1-4 認知症の経験年数												
10年未満	104 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	33 31.7%	70 67.3%	1 1.0%	5 4.8%	50 48.1%	32 30.8%	16 15.4%	1 1.0%	
10年以上～15年未満	219 100.0%	0 0.0%	2 0.9%	77 35.2%	139 63.5%	1 0.5%	17 7.8%	101 46.1%	77 35.2%	20 9.1%	4 1.8%	
15年以上～20年未満	124 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	35 28.2%	88 71.0%	1 0.8%	5 4.0%	50 40.3%	50 40.3%	18 14.5%	1 0.8%	
20年以上	108 100.0%	0 0.0%	1 0.9%	40 37.0%	67 62.0%	0 0.0%	5 4.6%	54 50.0%	35 32.4%	12 11.1%	2 1.9%	
Q1)1-6 年齢												
20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
30歳代	134 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	40 29.9%	93 69.4%	1 0.7%	10 7.5%	58 43.3%	49 36.6%	15 11.2%	2 1.5%	
40歳代	234 100.0%	0 0.0%	2 0.9%	82 35.0%	148 63.2%	2 0.9%	13 5.6%	114 48.7%	83 35.5%	20 8.5%	4 1.7%	
50歳代	143 100.0%	0 0.0%	2 1.4%	50 35.0%	91 63.6%	0 0.0%	8 5.6%	63 44.1%	51 35.7%	20 14.0%	1 0.7%	
60歳以上	56 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 32.1%	38 67.9%	0 0.0%	1 1.8%	23 41.1%	20 35.7%	11 19.6%	1 1.8%	
Q1)1-2 職種												
看護職	352 100.0%	0 0.0%	0 0.9%	126 35.8%	220 62.5%	3 0.9%	16 4.5%	159 45.2%	127 36.1%	43 12.2%	7 2.0%	
介護職	181 100.0%	0 0.0%	1 0.6%	55 30.4%	125 69.1%	0 0.0%	16 8.8%	85 47.0%	57 31.5%	22 12.2%	1 0.6%	
社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	11 91.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 41.7%	7 58.3%	0 0.0%	0 0.0%	
その他	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 31.8%	15 68.2%	0 0.0%	1 4.5%	9 40.9%	11 50.0%	1 4.5%	0 0.0%	
Q1)1-3 所属の施設・部署												
病院・診療所	154 100.0%	0 0.0%	1 0.6%	43 27.9%	110 71.4%	0 0.0%	8 5.2%	72 46.8%	52 33.8%	21 13.6%	1 0.6%	
介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	0 0.0%	1 0.9%	27 23.9%	85 75.2%	0 0.0%	9 8.0%	45 39.8%	40 35.4%	18 15.9%	1 0.9%	
訪問看護ステーション	69 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 31.9%	47 68.1%	0 0.0%	6 8.7%	31 44.9%	21 30.4%	10 14.5%	1 1.4%	
他の在宅サービス	97 100.0%	0 0.0%	2 2.1%	46 47.4%	48 49.5%	1 1.0%	5 5.2%	40 41.2%	43 44.3%	7 7.2%	2 2.1%	
その他	51 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 33.3%	33 64.7%	1 2.0%	2 3.9%	26 51.0%	19 37.3%	3 5.9%	1 2.0%	
	82 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	34 41.5%	47 57.3%	1 1.2%	3 3.7%	44 53.7%	26 31.7%	7 8.5%	2 2.4%	

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-132 ひと/全：満足することができるよう に、本人がしたいことを聞き取り、実現させる				Q2)2-132 実施/全：満足することができるよう に、本人がしたいことを聞き取り、実現させる					
		有益でない	あまりない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	無回答	
全体	568 100.0%	0 0.0%	21 3.7%	210 37.0%	334 58.8%	3 0.5%	66 11.6%	314 55.3%	131 23.1%	47 8.3%	10 1.8%
Q1)1-4 認知症の経験年数											
10年未満	104 100.0%	0 0.0%	5 4.8%	32 30.8%	66 63.5%	1 1.0%	11 10.6%	65 62.5%	16 15.4%	11 10.6%	1 1.0%
10年以上～15年未満	219 100.0%	0 0.0%	10 4.6%	76 34.7%	131 59.8%	2 0.9%	26 11.9%	126 57.5%	48 21.9%	14 6.4%	5 2.3%
15年以上～20年未満	124 100.0%	0 0.0%	1 0.8%	49 39.5%	74 59.7%	0 0.0%	14 11.3%	58 46.8%	40 32.3%	12 9.7%	0 0.0%
20年以上	108 100.0%	0 0.0%	3 2.8%	45 41.7%	60 55.6%	0 0.0%	14 13.0%	59 54.6%	21 19.4%	10 9.3%	4 3.7%
Q1)1-6 年齢											
20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	0 0.0%	6 4.5%	47 35.1%	80 59.7%	1 0.7%	19 14.2%	71 53.0%	32 23.9%	9 6.7%	3 2.2%
40歳代	234 100.0%	0 0.0%	6 2.6%	85 36.3%	142 60.7%	1 0.4%	30 12.8%	140 59.8%	46 19.7%	16 6.8%	2 0.9%
50歳代	143 100.0%	0 0.0%	8 5.6%	60 42.0%	74 51.7%	1 0.7%	14 9.8%	75 52.4%	35 24.5%	16 11.2%	3 2.1%
60歳以上	56 100.0%	0 0.0%	1 1.8%	18 32.1%	37 66.1%	0 0.0%	3 5.4%	27 48.2%	18 32.1%	6 10.7%	2 3.6%
Q1)1-2 職種											
看護職	352 100.0%	0 0.0%	18 5.1%	125 35.5%	207 58.8%	2 0.6%	34 9.7%	205 58.2%	71 20.2%	36 10.2%	6 1.7%
介護職	181 100.0%	0 0.0%	2 1.1%	74 40.9%	104 57.5%	1 0.6%	31 17.1%	89 49.2%	46 25.4%	11 6.1%	4 2.2%
社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	3 25.0%	8 66.7%	0 0.0%	1 8.3%	8 66.7%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 36.4%	14 63.6%	0 0.0%	0 0.0%	11 50.0%	11 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
Q1)1-3 所属の施設・部署											
病院・診療所	154 100.0%	0 0.0%	6 3.9%	50 32.5%	98 63.6%	0 0.0%	14 9.1%	94 61.0%	26 16.9%	19 12.3%	1 0.6%
介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	0 0.0%	3 2.7%	35 31.0%	74 65.5%	1 0.9%	12 10.6%	50 44.2%	37 32.7%	11 9.7%	3 2.7%
訪問看護ステーション	69 100.0%	0 0.0%	2 2.9%	21 30.4%	46 66.7%	0 0.0%	11 15.9%	39 56.5%	12 17.4%	6 8.7%	1 1.4%
他の在宅サービス	97 100.0%	0 0.0%	7 7.2%	50 51.5%	40 41.2%	0 0.0%	9 9.3%	53 54.6%	27 27.8%	7 7.2%	1 1.0%
その他	51 100.0%	0 0.0%	1 2.0%	17 33.3%	32 62.7%	1 2.0%	10 19.6%	25 49.0%	11 21.6%	2 3.9%	3 5.9%
	82 100.0%	0 0.0%	1 1.2%	36 43.9%	44 53.7%	1 1.2%	9 11.0%	52 63.4%	18 22.0%	2 2.4%	1 1.2%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-134 ヒト/全：自尊心を保つことができるように、負担にならない仕事や役割を担ってもらおう				Q2)2-134 実施/全：自尊心を保つことができるように、負担にならない仕事や役割を担ってもらおう						
		有益でない	あまりない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	無回答		
全体	568 100.0%	1 0.2%	11 1.9%	189 33.3%	363 63.9%	4 0.7%	29 5.1%	250 44.0%	217 38.2%	65 11.4%	7 1.2%	
Q1)1-4 認知症の経験年数	10年未満	104 100.0%	1 1.0%	1 1.0%	31 29.8%	70 67.3%	1 1.0%	4 3.8%	54 51.9%	32 30.8%	13 12.5%	1 1.0%
	10年以上～15年未満	219 100.0%	0 0.0%	7 3.2%	77 35.2%	133 60.7%	2 0.9%	16 7.3%	95 43.4%	80 36.5%	25 11.4%	3 1.4%
	15年以上～20年未満	124 100.0%	0 0.0%	2 1.6%	37 29.8%	84 67.7%	1 0.8%	4 3.2%	50 40.3%	50 40.3%	19 15.3%	1 0.8%
	20年以上	108 100.0%	0 0.0%	1 0.9%	39 36.1%	68 63.0%	0 0.0%	5 4.6%	44 40.7%	49 45.4%	8 7.4%	2 1.9%
	20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	1 0.7%	3 2.2%	49 36.6%	79 59.0%	2 1.5%	9 6.7%	64 47.8%	40 29.9%	18 13.4%	3 2.2%	
40歳代	234 100.0%	0 0.0%	4 1.7%	74 31.6%	154 65.8%	2 0.9%	14 6.0%	116 49.6%	80 34.2%	22 9.4%	2 0.9%	
50歳代	143 100.0%	0 0.0%	3 2.1%	52 36.4%	88 61.5%	0 0.0%	3 2.1%	56 39.2%	65 45.5%	18 12.6%	1 0.7%	
60歳以上	56 100.0%	0 0.0%	1 1.8%	14 25.0%	41 73.2%	0 0.0%	2 3.6%	14 25.0%	32 57.1%	7 12.5%	1 1.8%	
Q1)1-2 職種	看護職	352 100.0%	1 0.3%	5 1.4%	115 32.7%	228 64.8%	3 0.9%	14 4.0%	155 44.0%	133 37.8%	45 12.8%	5 1.4%
	介護職	181 100.0%	0 0.0%	4 2.2%	65 35.9%	111 61.3%	1 0.6%	14 7.7%	80 44.2%	67 37.0%	18 9.9%	2 1.1%
	社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	1 8.3%	3 25.0%	8 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 50.0%	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	22 100.0%	0 0.0%	1 4.5%	5 22.7%	16 72.7%	0 0.0%	1 4.5%	9 40.9%	10 45.5%	2 9.1%	0 0.0%
	病院・診療所	154 100.0%	1 0.6%	4 2.6%	42 27.3%	107 69.5%	0 0.0%	7 4.5%	69 44.8%	59 38.3%	18 11.7%	1 0.6%
Q1)1-3 所属の施設・部署	介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	0 0.0%	3 2.7%	36 31.9%	73 64.6%	1 0.9%	6 5.3%	44 38.9%	44 38.9%	17 15.0%	2 1.8%
	訪問看護ステーション	69 100.0%	0 0.0%	2 2.9%	20 29.0%	47 68.1%	0 0.0%	3 4.3%	24 34.8%	33 47.8%	8 11.6%	1 1.4%
	他の在宅サービス	97 100.0%	0 0.0%	1 1.0%	38 39.2%	57 58.8%	1 1.0%	3 3.1%	42 43.3%	38 39.2%	13 13.4%	1 1.0%
	その他	51 100.0%	0 0.0%	1 2.0%	20 39.2%	29 56.9%	1 2.0%	5 9.8%	26 51.0%	17 33.3%	2 3.9%	1 2.0%
	その他	82 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	31 37.8%	50 61.0%	1 1.2%	5 6.1%	44 53.7%	25 30.5%	7 8.5%	1 1.2%

有益だが困難なケア項目～回答者の属性別集計結果～

	合計	Q2)1-140 ひと/全：自宅に帰ることができるよう に、近隣者の理解と協力を得て家まで誘導して もらう			Q2)2-140 実施/全：自宅に帰ることができるよう に、近隣者の理解と協力を得て家まで誘導して もらう							
		有益でない	あまり有益でない	やや有益である	有益である	無回答	困難	どちらかと言えば困難	どちらかと言えば平易	平易	無回答	
全体	568 100.0%	6 1.1%	49 8.6%	256 45.1%	249 43.8%	8 1.4%	126 22.2%	286 50.4%	108 19.0%	37 6.5%	11 1.9%	
Q1)1-4 認知症の経験年数	10年未満	104 100.0%	1 1.0%	8 7.7%	44 42.3%	49 47.1%	2 1.9%	23 22.1%	51 49.0%	19 18.3%	9 8.7%	2 1.9%
	10年以上～15年未満	219 100.0%	2 0.9%	15 6.8%	101 46.1%	97 44.3%	4 1.8%	53 24.2%	108 49.3%	42 19.2%	11 5.0%	5 2.3%
	15年以上～20年未満	124 100.0%	1 0.8%	14 11.3%	54 43.5%	53 42.7%	2 1.6%	22 17.7%	65 52.4%	24 19.4%	11 8.9%	2 1.6%
	20年以上	108 100.0%	2 1.9%	11 10.2%	47 43.5%	48 44.4%	0 0.0%	26 24.1%	56 51.9%	18 16.7%	6 5.6%	2 1.9%
	20歳代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	134 100.0%	0 0.0%	11 8.2%	61 45.5%	59 44.0%	3 2.2%	31 23.1%	67 50.0%	23 17.2%	9 6.7%	4 3.0%	
40歳代	234 100.0%	4 1.7%	21 9.0%	103 44.0%	104 44.4%	2 0.9%	58 24.8%	120 51.3%	41 17.5%	13 5.6%	2 0.9%	
50歳代	143 100.0%	2 1.4%	8 5.6%	72 50.3%	59 41.3%	2 1.4%	32 22.4%	70 49.0%	29 20.3%	9 6.3%	3 2.1%	
60歳以上	56 100.0%	0 0.0%	9 16.1%	19 33.9%	27 48.2%	1 1.8%	4 7.1%	29 51.8%	15 26.8%	6 10.7%	2 3.6%	
Q1)1-2 職種	看護職	352 100.0%	1 0.3%	32 9.1%	160 45.5%	153 43.5%	6 1.7%	70 19.9%	178 50.6%	69 19.6%	27 7.7%	8 2.3%
	介護職	181 100.0%	5 2.8%	14 7.7%	84 46.4%	76 42.0%	2 1.1%	49 27.1%	90 49.7%	31 17.1%	8 4.4%	3 1.7%
	社会福祉士	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%	8 66.7%	0 0.0%	3 25.0%	7 58.3%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	22 100.0%	0 0.0%	3 13.6%	7 31.8%	12 54.5%	0 0.0%	3 13.6%	11 50.0%	6 27.3%	2 9.1%	0 0.0%
	病院・診療所	154 100.0%	0 0.0%	10 6.5%	74 48.1%	69 44.8%	1 0.6%	34 22.1%	81 52.6%	26 16.9%	11 7.1%	2 1.3%
Q1)1-3 所属の施設・部署	介護老人福祉施設・介護老人保健グループホーム	113 100.0%	1 0.9%	11 9.7%	45 39.8%	54 47.8%	2 1.8%	22 19.5%	59 52.2%	18 15.9%	11 9.7%	3 2.7%
	訪問看護ステーション	69 100.0%	2 2.9%	6 8.7%	31 44.9%	29 42.0%	1 1.4%	17 24.6%	38 55.1%	9 13.0%	3 4.3%	2 2.9%
	他の在宅サービス	97 100.0%	0 0.0%	10 10.3%	43 44.3%	42 43.3%	2 2.1%	19 19.6%	45 46.4%	25 25.8%	6 6.2%	2 2.1%
	その他	51 100.0%	2 3.9%	4 7.8%	23 45.1%	21 41.2%	1 2.0%	16 31.4%	21 41.2%	11 21.6%	2 3.9%	1 2.0%
	その他	82 100.0%	1 1.2%	6 7.3%	40 48.8%	34 41.5%	1 1.2%	16 19.5%	42 51.2%	19 23.2%	4 4.9%	1 1.2%

①「有益か」の回答に対する属性別の特徴

まず、「有益か」の回答を職種別にみたが、特に職種ごとの大きな違いは見られなかった。

次に、所属施設・部署別にみたところ、項目により、回答傾向に特徴があるものがあった。全体的には、「病院・診療所」や「介護老人福祉施設・介護老人保健施設」で「有益」の回答が比較的高く、項目により「訪問看護ステーション」または「グループホーム」が比較的低い傾向を示す場合が多かった。特に、「訪問看護ステーション」では元々の設問の「有益である」と「やや有益である」の回答比率で、「有益である」の比率が特に低い項目があった点が特徴的であった。

(例)

- ・ Q2)1-48 ヒト/中等度：多量の食材を買い込む習慣がある時は、賞味期限を一緒に確認して新たに買いすぎないように説明する：「病院・診療所」で 60.4%と比較的高かった。グループホームでは「有益」の回答割合が 37.7%で比較的低く、また 50%を下回っていた。「他の在宅サービス」でも、45.1%と 50%を下回っていた。
- ・ Q2)1-49 ヒト/中等度：地域の商店の人に買いすぎないように量をみてもらったり、品物を選んでもらえるようにする：「病院・診療所」で、「有益」が 87.0%で比較的高く、「訪問看護ステーション」で「有益」が 70.1%で他に比べて低かった。
- ・ Q2)1-56 ヒト/重度：便意のサインをとらえて、トイレへ誘導する：「病院・診療所」で、「有益」が 98.1%、「介護老人福祉施設・介護老人保健施設」が 98.2%、「グループホーム」が 98.6%、「その他」が 98.0%といずれも 98%以上だったが、「訪問看護ステーション」は、89.7%と比較的低かった。さらに、「有益である」が 45.4%と他が 70%台と比べて著しく低かった。(Q2)1-63 ヒト/重度：尿意のサインをとらえてトイレへ誘導するも同様の傾向)
- ・ Q2)1-81 ヒト/重度：口を開けるまで時間を要する時は、本人のタイミングに合わせて食べ物を口に含んでもらう：「訪問看護ステーション」で「有益である」が 29.9%で比較的低かった。(Q2)1-126 ヒト/重度：気持ちを察し、そのような気持ちであるかを問いかけて確認するも同様)
- ・ Q2)1-103 ヒト/重度：事前に入浴の説明をすると嫌がる時は、浴室の近くに誘導してから入浴について説明する：「グループホーム」では 62.3%、「病院・診療所」では 61.0%と比較的高かった。「介護老人福祉施設・介護老人保健施設」では 48.7%、「訪問看護ステーション」では 43.3%、「他の在宅サービス」は 45.1%と 50%を下回っていた。

②「困難か」の回答に対する属性別の特徴

「困難か」の回答を職種別にみたが、特に職種ごとの大きな違いは見られなかったものの、「介護職」のほうで「看護職」より、元の選択肢の「困難」の割合がやや高いものが多い傾向があった。

(例)

- ・Q2)2-56 実施/重度：便意のサインをとらえて、トイレへ誘導する：「介護職」は「困難」が18.2%で、「看護職」(11.4%)に比べて高かった。(Q2)2-63 実施/重度：尿意のサインをとらえてトイレへ誘導するも同様)

次に、所属施設・部署別にみたところ、項目により、回答傾向に特徴があるものがあった。全体的には、「介護老人福祉施設・介護老人保健施設」で「困難」(元の選択肢の「困難」と「どちらかと言えば困難」の合計)の割合が比較的lowく、項目により「訪問看護ステーション」や「グループホーム」、「他の在宅サービス」が比較的高い傾向を示した。

(例)

- ・Q2)2-50 実施/中等度：通信販売のダイレクトメールを本人と一緒に整理して、次々と購入しないようにする：「介護老人福祉施設・介護老人保健施設」は「困難」が54.0%と比較的lowく、「他の在宅サービス」が70.6%であった。
- ・Q2)2-81 実施/重度：口を開けるまで時間を要する時は、本人のタイミングに合わせて食べ物を口に含んでもらう：「訪問看護ステーション」では「困難」が60.8%と比較的高く、「介護老人福祉施設・介護老人保健施設」では46.9%で50.0%を下回っている。
- ・Q2)2-82 実施/重度：いつまでも飲み込まない時は、箸やスプーンなどを口元に運ぶことで、飲み込むことを促す：「グループホーム」では「困難」が59.4%と比較的高く、「介護老人福祉施設・介護老人保健施設」では43.3%で50.0%を下回っている。

第3章 考察

第3章 考察

1. 回答者について

本調査は、昨年度（平成 25 年度）の「在宅認知症者のステージごとの生活障害と行動・心理症状に応じたケアガイドの開発事業」での調査と同様の資格を有する者、すなわち認知症介護指導者（東京・大府の 2 センター修了者）、認知症看護認定看護師、訪問看護認定看護師、老人看護専門看護師、在宅看護専門看護師、地域看護専門看護師を対象とした悉皆調査であったが、昨年度より有効回収率は 1.5% 高かった。

回答者が有する資格では、認知症介護指導者、老人看護専門看護師、認知症ケア上級専門士の割合が昨年度の調査に比べて高くなっていた。また、回答者の職種を見ると、介護福祉士、ホームヘルパー、理学療法士の割合が昨年度に比べ高かった。

以上より、ステージごとの生活障害とケアの具体について自由記載での回答を求めた昨年度の調査に比較すると、本年度は調査票に記載されている具体的な生活障害とケアの有益性と実施可能性について 4 段階のリッカートスケールで回答を求めるものであったため、特に介護福祉士やホームヘルパーにとって専門性を発揮しやすく、より回答しやすいものであったと思われた。

また、対象者の所属施設・部署は、在宅ケアと長期ケア施設、一般病院などいくつかの領域にわたっていた。それらを利用する認知症者の重症度、身体状態のレベル等には一定の特徴があるため、領域ごとにケアの有益性と実施可能性には特徴が見られることが予測された。

2. 認知症のステージごとの生活障害のケアの特徴

1) 軽度（FAST ステージ 3）認知症者の生活障害のケアの特徴

本調査では、軽度（FAST ステージ 3）認知症者の生活障害のケアに関する 17 項目について有益性と実施可能性を求めたが、それら全てにおいて有益性、実施可能性ともに 50% 以上という高値が認められ、有益性と実施可能性が否定されたものは見られなかった。

また、軽度認知症者の生活障害のケアの有益性を構成しているのは、まず「服

薬カレンダーを利用して、処方通りに服薬できるようにする」「医師と相談し一包化して、処方通りに服薬できるようにする」「メモを書き、買い物の際に持っていけるようにする」など、いわゆる【ひとまとめに示して、抜け落ちることのないようにする】という特徴を有するケアであると考えられた。他にも、「介護者がそばについて手順を伝えるなどして、洗濯物の干し方がわかるようにする」「自分から髭剃りをしない時は、介護者から『今日は髭を剃りましょう』と声をかける」など、【声をかけて次へと注意を誘導する】という特徴を持つケアであると思われた。

さらに、軽度認知症者の生活障害のケアの実施可能性を構成しているのは、まず「薬包に日付を書くなどして、服薬したことを確認できるようにする」「メモを書き、買い物の際に持っていけるようにする」など、いわゆる【現実性を求める】という特徴を有するケアであると考えられた。また、「家族やヘルパーから内服薬を毎回手渡して、処方通りに服薬できるようにする」「電話なども活用して、介護者から午前中に洗濯物を干したかどうかを確認する等して、干し忘れないようにする」など、【タイミングを逃さない】という特徴を持つケアであると思われた。他には、「鏡を見て確認するように言葉をかけて、歯磨き粉が口のまわりについたままにならないようにする」「『歯の点検をしましょう』『口の中を観察させてください』などと介護者から声をかけて、自ら義歯をはずすことができるようにする」など、【整容を促す】という特徴が見られた。

2) 中等度 (FAST ステージ 4) 認知症者の生活障害のケアの特徴

本調査では、中等度 (FAST ステージ 4) 認知症者の生活障害のケアに関する 36 項目について有益性と実施可能性を求めたが、そのうち 30 項目において有益性、実施可能性ともに 50%以上という高値が認められ、一方、有益性が 50%以上で高いが実施可能性が 50%未満で低いものは 3 項目であった。これらの 3 項目は、すべて買い物に関して安心・安全を保障するケアだと言える。また、有益性が 50%以下で実施可能性が 50%と高いものが 3 項目であったが、これらは洗剤の誤飲や火災を未然に防ぐ意味合いを有するケアであった。

また、中等度認知症者の生活障害のケアの有益性を構成しているのは、まず

「石鹼の泡を手全体に行き渡らせることができるように声をかける」「顔の一部分しか洗わない場合は、顔全体を洗うことができるように『こちらも洗いましょう』と声をかける」など、いわゆる【生活行為が完結するよう不十分な動作を言葉で伝え身振りで示す】という特徴を有するケアであると考えられた。他にも、「電気カミソリのスイッチの位置がわからない時はわかりやすいように印をつける」「容器の色を変えたり、文字で大きく書いておくなどして、シャンプー、リンス、ボディーソープの違いがわかるようにする」など、【注目してほしい事柄に目印をつける】という特徴を持つケアであると思われた。また、「汚れていても気にしない時は、『きれいになると気持ち良いですよ』と声をかけ、一緒に掃除をする」「片づけ方がわかるように、介護者から声をかけて一緒に片づける」など【一緒に生活行為を行う】という特徴を有していた。

さらに、中等度認知症者の生活障害のケアの実施可能性を構成しているのは、まず「どこを洗っていいのかわからない時は、洗っていない部分を伝える」「介護者が認知症者の手にポンプ式の石鹼をワンプッシュのせ、水道の水を出す等して、一連の動作がわかるようにする」など、いわゆる【生活行為が完結するよう言葉、身振りで伝える】という特徴を有するケアであると考えられた。また、「介護者が一緒に買い物に行き、お札や小銭の種類と数を言葉で伝え、支払いができるようにする」「賞味期限切れの食品がある時は、地域の商店の人に本人が買いすぎないように量をみてもらったり、品物を選んでもらえるようにする」など、【安全・安心な地域生活のために、一緒に生活行為を行えるようにする】という特徴を持つケアであると思われた。他には、「目的の場所に目印になるものを示し、それを目指すように伝える」「目につく場所に『火の元確認』の貼り紙をして火をつけていることを忘れないようにする」など、【安全・安心な生活のために目印などの視覚情報を活用する】という特徴が見られた。

3) 重度 (FAST ステージ 5・6・7) 認知症者の生活障害のケアの特徴

本調査では、重度 (FAST ステージ 5・6・7) 認知症者の生活障害のケアに関する 74 項目について有益性と実施可能性を求めたが、そのうち 52 項目において有益性、実施可能性ともに 50%以上という高値が認められ、一方、

有益性が 50%以上で高いが実施可能性が 50%未満で低いものは 12 項目であった。これらの 12 項目は、尿意・便意を捉えることをはじめ、本人の意向を把握する上で成り立つケアや、男性に洋式便器に腰かけて排尿することを促すなど、本人のこれまでの生活習慣とは異なる行為を導くケアだと言える。また、有益性が 50%未満で実施可能性が 50%と高いものが 5 項目であったが、これらは、【自分の意思で生活行為を行えるように、言葉、身振り、表示で伝える】意味合いを有するケアであった。

有益性と実施可能性がともに 50%未満のものは 5 項目であった。これら 5 項目については、多くの対象者がこれまで実施したことがないケアであり、対象者によっては効果が認められたケアである可能性があると思われた。

また、重度認知症者の生活障害のケアの有益性を構成しているのは、まず「便意のサインをとらえて、トイレへ誘導する」「箸やスプーンなどを持つとしない時は、介護者から本人に渡す」など、いわゆる【生活行為を構成する動作を具体的に誘導する】という特徴を有するケアであると考えられた。他にも、「容器に順番を示し、化粧品をつける順番を間違えないようにする」「座る位置を言葉や身振りで伝えて、深く座ることができるようにする」など、【自分の意思で生活行為を行えるように言葉、身振り、表示で伝える】という特徴を持つケアであると思われた。また、「自分の意思を表現できるまで、ゆっくり待つ」「気持ちを察し、そのような気持ちであるかを問いかけて確認する」など【本人の意思をゆっくり確認する】という特徴を有していた。

さらに、重度認知症者の生活障害のケアの実施可能性を構成しているのは、まず「最初一枚を脱ぐことが難しい時は、介護者が一枚余計に着ていった服を脱ぐところを見てもらう」「枕の上に頭をのせようとしない時は、手で枕を触れてもらい、枕の上に頭をのせるように誘導する」など、いわゆる【生活行為を構成する動作を自分の意思で失敗することなく行えるよう、言葉、身振りで伝える】という特徴を有するケアであると考えられた。また、「トイレや周囲の照明をつけておき、場所がわかるようにする」「お皿の模様が気になる時は、模様のない皿に変更する」など、【生活行為の成立に必要な物品・道具を活用できるようにする】という特徴を持つケアであると思われた。他には、「尿意のサインをとらえてトイレへ誘導する」「便意のサインをとらえてトイレへ

誘導する」「音や声かけ、介護者の動きを少なくして、食事動作を中断せずに食事に集中できるようにする」など、【本人のサイン・リズムを捉えて、食事・排泄に必要な動作を誘導する】という特徴が見られた。

3. BPSD に対するケアの特徴

本調査では、BPSD に対する 15 項目のケアについて有益性と実施可能性を確認したが、そのうち 10 項目において有益性、実施可能性ともに 50%以上という高値が認められた。一方、有益性が 50%以上で高いが実施可能性が 50%未満で低いものは、5 項目であった。これらの 5 項目は、本人の話を時間をかけてじっくり聞くことができるようにすること、本人がコミュニケーションや実施したことに満足感を得て自尊心が高まるようにかかわること、本人が一人で自宅に戻ることができない場合に、近隣者の協力を必要とすることなどのケアであるという特徴が見られた。

4. 調査結果を踏まえたイラスト教材開発における基本的考え方

以上を踏まえると、認知症のステージごとに生活障害と BPSD に対するケアを有益性と実施可能性という 2 つの視点で整理することで、イラスト教材開発において、教材に含めるべきケアを判断することが可能となったといえる。基本的に有益性が 50%以上のものをイラスト教材に含めることが重要である。それらのケアの中でも、実施可能性が 50%以上と高いものは、家族介護者や認知症ケア初心者にもぜひとも提示し、実施を勧奨したいものとなる。実施可能性が 50%未満のケアについては、より難度の高いケアであると言え、どのように実施したらよいのか具体的に理解しやすいよう工夫を施しながら教材に含め、認知症ケアの充実・発展を目指すべきであると示唆された。

5. 認知症者を理解し、ケアの実践者を増やすために

本事業では、認知症ケア熟練者から抽出したグッドプラクティスをさらに洗練し、初心者にも分かりやすいイラスト教材を作成した。本教材を活用することによって、家族介護者やケア初心者が、認知症者の自宅での生活を支えるケア方法を知り、実践することにつながると考える。ひいては、認知症ケアのよ

り一層の充実と普及・啓発により、認知症者が自宅での生活を穏やかに継続できる社会の実現の一助となることを期待している。

參考資料

平成26年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業
**在宅認知症者のステージごとの生活障害と行動・心理症状に応じたグッドプラクティスを
 普及するためのイラスト教材開発事業**
「生活障害と行動・心理症状へのケア効果の検証」に関するアンケート調査票

公益財団法人 日本訪問看護財団

◇記入上のお願い◇

- 本調査は認知症ケア熟練者の皆様が行っているアルツハイマー型認知症者の認知機能に応じた生活障害と行動・心理症状の支援方法から、過剰な介助とそれによる生活障害を低減させて可能な限り生活行為の自立を可能にすること、さらにそれらの支援方法を家族介護者や認知症ケア実践者に普及するための教材開発を目的としています。
- どの番号にもあてはまらない場合もあるかと思えます。その場合は、最も近いものを選び、できるかぎりすべての質問にご回答くださいますようお願いいたします。
- 調査用紙は全部で8ページです。ご記入がお済みになった質問紙は、同封の返信用封筒に入れ、11月28日(金)までにご投函くださいますようお願いいたします。

研究代表者: 担当 諏訪さゆり
 e-mail: suwa-sayuri@faculty.chiba-u.jp
 本調査に関するお問い合わせ先: 山辺、湯本、上野
 電話: 03-5778-7001(代)
 e-mail: kenkyu@jvnf.or.jp

問1) あなたの資格や職種などについてお伺いします。

1-1)【複数回答】あなたがお持ちの資格を以下の枠内からすべて選び番号に○をつけてください。

1) 認知症介護指導者	2) 認知症ケア専門士	3) 認知症ケア上級専門士
4) 認知症看護認定看護師	5) 訪問看護認定看護師	6) 老人看護専門看護師
7) 在宅看護専門看護師	8) 地域看護専門看護師	9) その他 ()

1-2【複数回答】あなたの職種を以下の枠内からすべて選び番号に○をつけてください。

1) 介護福祉士	2) 社会福祉士	3) 看護師	4) 保健師
5) 助産師	6) 理学療法士	7) 作業療法士	8) 言語聴覚士
9) ホームヘルパー	10) 介護支援専門員	11) 医師	12) その他 ()

**1-3 あなたの現在ご所属の施設・部署を以下の枠内から1つ選び、番号に○をつけてください。
 複数の施設・部署にご所属の場合は、あなたが認知症者と最も多くかかわっている施設・部署を1つ選んでください。**

1) 介護老人福祉施設	2) 介護老人保健施設	3) グループホーム
4) 通所介護サービス	5) 短期入所サービス	6) 居宅介護支援事業所
7) 地域包括支援センター	8) 療養通所介護施設	9) 小規模多機能型居宅介護事業所
10) 訪問看護ステーション	11) 訪問リハビリテーション	12) 診療所・クリニック
13) 複合型サービス	14) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	15) 訪問介護
16) 病院全体の管理部門	17) 病院の退院支援部署	18) 療養病床の病棟 (介護療養型医療施設含む)
19) 一般病床の病棟	20) その他	

1-4) あなたの認知症ケアの経験年数を教えてください。

年

1-5) あなたの性別を教えてください。いずれかを選び番号に○をつけてください。

1) 男性 2) 女性

1-6) あなたのおおよその年齢を教えてください。

歳代

問2) 生活障害と行動・心理症状に対する認知症者へのケアについてお伺いします。

- 軽度・中等度・重度のアルツハイマー型認知症者に以下の項目の生活障害と行動・心理症状がみられる場合のケアについて、有益なケアであるかや実践可能なケアであるかに関するあなたのお考えをお答えください。(軽度:FASTステージ3 中等度:ステージ4 重度:ステージ5~7)
- 『有益なケア』とは、認知症者の力を引き出して生活行為を可能な限り自立して行うことを支援でき、さまざまな認知症者の生活行為の支援方法のヒントとなるケアを指します。
- 『実践可能なケア』とはあなた自身だけでなく、助言があれば家族介護者や認知症ケア初心者が実践することができるケアを指します。
- 「認知症者に有益なケアであるか」について「有益でない」~「有益である」、「実践可能なケア」について家族介護者や認知症ケア初心者にとって「困難」~「平易」の中で、最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

認知症者のケアのヒントとしてどの程度有益か

家族介護者や認知症ケア初心者にとってどの程度実施可能か

【軽度の認知症者に対するケア】
FASTステージ3

		認知症者のケアのヒントとしてどの程度有益か				家族介護者や認知症ケア初心者にとってどの程度実施可能か			
		有益でない	有益あまりでない	やや有益である	有益である	困難	どちらかと言えれば困難	どちらかと言えれば平易	平易
移動・歩行	蛍光色のテープを床にはるなど、夜中でも行く場所がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
歯磨き	鏡を見て確認するように言葉をかけて、歯磨き粉が口のまわりについたままにならないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
化粧	化粧水や乳液などを適量出せない時は、ポンプ式の容器に変える	1	2	3	4	1	2	3	4
髭剃り	自分から髭そりをしない時は、介護者から「今日は髭をそりましょう」と声をかける	1	2	3	4	1	2	3	4
歯磨の洗浄	「歯の点検をしましょう」「口の中を観察させてください」などと介護者から声をかけて、自ら義歯をはずすことができるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
薬の管理	医師と相談して内服を毎日1回にして、処方通りに服薬できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	家族やヘルパーから内服薬を毎回手渡して、処方通りに服薬できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	電話なども活用して介護者から服薬時間であることを伝え、処方通りに服薬できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	服薬カレンダーを利用して、処方通りに服薬できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	医師と相談し一包化して、処方通りに服薬できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	薬包に日付を書くなどして、服薬したことを確認できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
洗濯	電話なども活用して、介護者から午前中に洗濯物を干したかどうかを確認する等して、干し忘れないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	介護者がそばについて手順を伝えるなどして、干し方がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
買い物	必要な物を買って忘れないようにメモを書き、買い物の時に持って行くようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	スーパーの案内表示を指さし、「ここには〇〇がありますよ」と伝える等して、どこに何が売っているかわかるように声を掛ける	1	2	3	4	1	2	3	4
	冷蔵庫に入っている物を紙に書いて冷蔵庫に貼っておくなどして、消費期限の前に冷蔵庫の中の物を食べることができるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
掃除	電話なども活用して、ごみ出しの日がわかるように、介護者から伝える	1	2	3	4	1	2	3	4

**【中等度の認知症者に対するケア】
FASTステージ4**

		有益でない	有益でない あまり	やや有益 である	有益である	困難	どちらかと 言えば困難	どちらかと 言えば平易	平易
歩行・移動	目的の場所に目印になるものを示し、それを目指すように伝える	1	2	3	4	1	2	3	4
	どこに行ったらよいかわからない時は、行きたい場所まで一緒に移動する	1	2	3	4	1	2	3	4
排便	排便後は、ハンドルやボタンの位置や操作の仕方を言葉で伝えて、流すことがわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
手洗い	介護者が身振りで回し方を伝えるなどして、水道栓の回し方がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	水道栓にわかりやすい表示をする等して、水温を調節できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	手洗いができない時は、「手を洗いましょう」と声をかける	1	2	3	4	1	2	3	4
	介護者が認知症者の手にポンプ式の石鹸をワンプッシュのせ、水道の水を出す等して、一連の動作がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	石鹸の泡を手全体に行き渡らせることができるように声をかける	1	2	3	4	1	2	3	4
洗顔	顔の一部分しか洗わない場合は、顔全体を洗うことができるように「こちらを洗いましょう」と声をかける	1	2	3	4	1	2	3	4
歯磨き	歯磨き後、水を口の中を含むこと・口をゆすぐことを言葉で伝え、コップに入れた水で口をゆすぐるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
食事	空腹時に食べられるように、冷蔵庫内ではなく見える場所に間食を置く	1	2	3	4	1	2	3	4
飲む	「熱いのでゆっくり飲みましょう」と言葉で伝え、熱い飲み物を熱いとわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
着衣	外の景色を見ながら昼間であることを伝え、寝巻を着替えるように促す	1	2	3	4	1	2	3	4
	ズボンを上着のように着るときは、「それはズボンなので足を入れましょう」と言葉で伝える	1	2	3	4	1	2	3	4
脱衣	脱いだ物を本人用のカゴや袋にまとめるなどして、脱いだ衣類を紛失する心配をしないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
入浴	どこを洗っていいのかわからないときは、洗っていない部分を伝える	1	2	3	4	1	2	3	4
	容器の色を変えたり、文字で大きく書いておくなどして、シャンプー・リンス・ボディソープの違いがわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	湯船のつかり方がわかるように、介護者が言葉で伝える	1	2	3	4	1	2	3	4
髭そり	電気カミソリのスイッチの位置がわからない時は、わかりやすいように印をつける	1	2	3	4	1	2	3	4
	片側の髭だけをそる時は、「こちらにも髭がありますよ」ともう一方の髭をそるように声をかける	1	2	3	4	1	2	3	4
義歯の洗浄	自ら義歯を洗浄しない時は、洗面所まで誘導し、声をかける	1	2	3	4	1	2	3	4
	洗浄剤を使う意味や使い方を言葉で伝えて、食べ物と間違えないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4

認知症者のケアのヒント
としてどの程度有益か

家族介護者や認知症
ケア初心者にとって
どの程度実施可能か

【中等度の認知症者に対するケア】
FASTステージ4

		有益でない	有益あまりでない	やや有益である	有益である	困難	言えらば困難	どちらかと言えらば平易	平易
管理の	薬のセットの仕方が少しでも普段と違うと混乱する時は、セットの仕方を関係者で統一する	1	2	3	4	1	2	3	4
料理	介護者が食材を切っているところを見てもらい、切り方がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	目につく場所に「火の元確認」の貼り紙をして、火をつけている事を忘れないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	鍋を焦がさないよう、電気調理器に変更し、使い方を番号で表示する	1	2	3	4	1	2	3	4
	鍋を焦がさないよう、自動消火するガスレンジに変更する	1	2	3	4	1	2	3	4
洗濯	脱いだものをまとめて置く場所を決め、一緒に仕分けるなどして、脱いだ服と着ていない服の区別がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
買い物	スーパーが比較的空いている時間帯に買い物に行き、自分のペースで支払ができるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	介護者が一緒に買い物に行き、お札や小銭の種類と数を言葉で伝え、支払ができるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	多量の食材を買い込む習慣がある時は、賞味期限を一緒に確認して賞味期限が切れている物は捨て、新たに買いすぎないように説明する	1	2	3	4	1	2	3	4
	賞味期限切れの食品がある時は、地域の商店の人に本人が買いすぎないように量をみてもらったり、品物を選んでもらえるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	通信販売のダイレクトメールを本人と一緒に整理して、通信販売で不必要なものを次々と購入しないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
掃除	汚れていても気にしない時は、「きれいになると気持ち良いですよ」と声をかけ、一緒に掃除をする	1	2	3	4	1	2	3	4
	片付け方がわかるように、介護者から声をかけて一緒に片付ける	1	2	3	4	1	2	3	4
意思の表現	自分の意思を表現する言葉がでにくい時は、最後まで話を聴き、本人の思いを復唱して確認する	1	2	3	4	1	2	3	4

【重度の認知症者に対するケア】
FASTステージ5～7

		有益でない	有益あまりでない	やや有益である	有益である	困難	言えらば困難	どちらかと言えらば平易	平易
歩行・移動	トイレのドアをあらかじめ開けておき、場所がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	トイレや周囲の照明をつけておき、場所がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
排便	便意のサインをとらえて、トイレへ誘導する	1	2	3	4	1	2	3	4
	目立つ色の便座カバーや消臭シートを用いて、便座であることをわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	立つ位置に目立つ色のビニールテープなどを貼るなどして、便器の適切な位置に座れるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4

【重度の認知症者に対するケア】

		有益でない	有益でない あまり	やや有益 である	有益である	困難	どちらか 言えば困難	どちらか 言えば平易	平易
排便	手すりと握る部位を示して、便器の適切な位置に座れるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	便器の前で立ち止まった時は、スムーズに座ることができるように、「私(介護者)の方を向いてください」と伝えて身体の向きを変えてもらう	1	2	3	4	1	2	3	4
	ペーパーをたくさん出してしまう時は、排便後に使う1回分のペーパーを箱の中に入れ、見える場所に置く	1	2	3	4	1	2	3	4
	ペーパーを便器内に捨てない時は、トイレ内にゴミ箱やカゴを用意して、その中に捨てられるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
排尿	尿意のサインをとらえてトイレへ誘導する	1	2	3	4	1	2	3	4
	いきむことができず腹圧をかけられない時は、本人の握りこぶしをお腹に当てて、その上に介護者の手を当ててゆっくりと圧迫する	1	2	3	4	1	2	3	4
	気になるものが本人の視界に入らないようにして、排泄の途中で立ちあがることなくゆっくり排泄できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	ペーパーの位置を言葉で伝えるなどして、自分でペーパーを巻き取ることができるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	流し方がわかるように、利用者の手をハンドル・ボタンに誘導し、一緒に流す	1	2	3	4	1	2	3	4
	男性については、洋式トイレの便座に腰かけて排尿できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	男性についてはペニスを便器内に向けることができるように、便器内に目印をつけ、それをめがけて排尿できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
手洗い	固形石鹸は分かるが液状石鹸は認識できない時は、固形石鹸をネットに入れて蛇口の近くに下げておく	1	2	3	4	1	2	3	4
	液状石鹸が石鹸であることがわからない時は、介護者が隣に立ち、手洗いを本人に見てもらう	1	2	3	4	1	2	3	4
	蛇口の下に手を出せない時は、片手をゆっくりと誘導し、ぬるま湯に触れてもらう	1	2	3	4	1	2	3	4
	蛇口から出る水で洗い流せない時は、洗面器に水を溜め、その水の中で洗う	1	2	3	4	1	2	3	4
	掌を顔面を持って行くことを理解できない時は、蒸しタオルを使って清拭する	1	2	3	4	1	2	3	4
	顔を拭くとき、顔が濡れていてもタオルで拭くのを止めてしまう時は、「このあたりを拭きましょう」と指差しながら伝える	1	2	3	4	1	2	3	4
歯磨き	本人にとって目印になるものをつけるなどして、自分の歯ブラシと他の人の歯ブラシが区別できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	歯ブラシであることを認識できずうまく使えない時は、介護者が側で歯磨きして本人に見てもらう	1	2	3	4	1	2	3	4
	口を開けないときは、ほほから口元へやさしくマッサージして自分から口を開けられるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
食事	食卓に何が並んでいるかはわからない時は、メニューを言葉で伝える	1	2	3	4	1	2	3	4
	食べ始めない・口を開けようとしなない時は、一口目を介助して食べてもらい、食べ物であることがわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	口を開けるまで時間を要する時は、介護者のタイミングではなく、本人のタイミングに合わせて一口分の食べ物を口に含んでもらう	1	2	3	4	1	2	3	4

【重度の認知症者に対するケア】
FASTステージ5～7

有益でない	有益でない あまり	やや有益 である	有益である
-------	--------------	-------------	-------

困難	どちらか 言えれば 困難	どちらか 言えれば 平易	平易
----	--------------------	--------------------	----

		有益でない	有益でない あまり	やや有益 である	有益である	困難	どちらか 言えれば 困難	どちらか 言えれば 平易	平易
食事	口の中の食べ物をいつまでも飲み込まないでいる時は、箸やスプーンなどを口元に運ぶことで、飲み込むことを促す	1	2	3	4	1	2	3	4
	音や声かけ、介護者の動きを少なくして、食事動作を中断せずに食事に集中できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	お皿の模様が気になる時は、模様のない皿に変更する	1	2	3	4	1	2	3	4
	切る、小分けにすることができず、そのまま口に入れる時は、「小さくしましょうか」と尋ねてから本人の前で切り分ける	1	2	3	4	1	2	3	4
	スプーン操作を継続できず手づかみや器に口をつけて食べようとする時は、おにぎりやつまめる形にして食べやすくする	1	2	3	4	1	2	3	4
	箸やスプーンなどを持つとしない時は、介護者から本人に手渡す	1	2	3	4	1	2	3	4
	適切な一口量を口の中に入れることができない時は、スプーンの大きさや器の大きさを調整する	1	2	3	4	1	2	3	4
飲む	飲み込まず口にためてしまう時は、喉や口角を軽く圧迫刺激する	1	2	3	4	1	2	3	4
	コップのどこを持てばよいのかわからない時は、取っ手の付いたコップを使う	1	2	3	4	1	2	3	4
	浅くて口が広いコップを使い、コップの中に飲み物が入っていることが見てわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
着衣	洋服の上に下着を着ている時は、そのまま様子を見て、入浴後に適切に着衣できるように着る順番を言葉で伝える	1	2	3	4	1	2	3	4
	着替えている途中で、着ているのか脱いでいるのかわからない時は、声をかける	1	2	3	4	1	2	3	4
	ボタンを掛け違えるときは、大きなボタンやはっきりした色のものにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	衣類に付いているタグを見てもらい、左右・裏表がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	介護者が着るところを見てもらうなどして、洋服の着方がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
履物をはく	あらかじめ靴を正しく並べておき、足先と踵を間違えないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	靴をはかないで歩き出してしまう時は、玄関に椅子を準備して座ってもらい、靴をはけるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	履物の左右を間違える時は、靴の左右がわかるように印をつける	1	2	3	4	1	2	3	4
脱衣	最初一枚を脱ぐことが難しい時は、介護者が一枚余計に着いた服を脱ぐところを見てもらう	1	2	3	4	1	2	3	4
	工程を一つずつ区切って「〇〇を脱ぎます」などと言葉や動作で伝え、脱ぎ方や脱ぐ順番がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
入浴	浴室へ移動していることがわかるように、繰り返し声をかけながら浴室へ誘導する	1	2	3	4	1	2	3	4
	事前に入浴の説明をすると嫌がる時は、浴室の近くに誘導してから入浴について説明する	1	2	3	4	1	2	3	4

【重度の認知症者に対するケア】

		有益でない	有益あまりでない	やや有益である	有益である	困難	どちらかと言えれば困難	どちらかと言えれば平易	平易
入浴	入浴の必要性がわからない時は、信頼する医師などの専門職に「入浴して下さい」と書いてもらった紙を部屋に貼っておく	1	2	3	4	1	2	3	4
	手すりにつかまってもらうなどして、浴槽の深さがわからなくても安心できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	シャンプーを頭部にいきわたらせることを言葉や身振りで伝えて、シャンプーで顔を洗わないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	シャワーの水圧などに驚く時は、洗面器にお湯をくんで使う	1	2	3	4	1	2	3	4
移乗	姿勢が傾いていても自分から直そうとしない時は、正しい位置へのポジショニングを言葉で伝える	1	2	3	4	1	2	3	4
	一連の移動動作について説明して、動作がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	車に乗る時、手や足を置く順番と場所がわかるように印をつける	1	2	3	4	1	2	3	4
	座る位置を言葉や身振りで伝えて、深く座ることができるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
仰臥位になる	横になることができない時は、先に介護者が寝てみせて、真似ることを待つ	1	2	3	4	1	2	3	4
	枕の上に頭をのせようとする時は、手で枕を触れてもらい枕の上に頭をのせるように誘導する	1	2	3	4	1	2	3	4
化粧	容器に順番を表示し、化粧品をつける順番を間違えないようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	眉毛をマジックなどで描く時は、「これで描きましょう」と眉ずみなど適切な化粧品を手渡す	1	2	3	4	1	2	3	4
	化粧品のふたの開け方、閉め方がわからない時は、介護者が開け方、閉め方を言葉や身振りで伝える	1	2	3	4	1	2	3	4
髭をそる	電気カミソリを怖がる時は、介護者が一緒に持って剃る	1	2	3	4	1	2	3	4
	髭が全て剃れたかを確認しない時は、自分で触って確認できるように介護者から声をかける	1	2	3	4	1	2	3	4
	髭がそれた後もいつまでも止めない時は、「もう剃れてますよ」と声をかける	1	2	3	4	1	2	3	4
義歯の洗浄	介護者が義歯を磨いている所を見てもらい、磨き方がわかるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
	装着する時に口を開けない時は、義歯であることを認識できるように、声をかける	1	2	3	4	1	2	3	4
薬の管理	服薬を拒む場合は、主治医の指示なので、服薬して欲しいことを伝える	1	2	3	4	1	2	3	4
	一包化された薬を一日分手渡して自分で管理してもらう	1	2	3	4	1	2	3	4
自分の意思の表現	質問に答えることができない時は、わかりやすい表現で質問する	1	2	3	4	1	2	3	4
	自分の意思を表現できるまで、ゆっくり待つ	1	2	3	4	1	2	3	4
	気持ちを察し、そのような気持ちであるかを問いかけて確認する	1	2	3	4	1	2	3	4
	本人の言葉が出やすいリズムで話しかける	1	2	3	4	1	2	3	4

【全てのステージにおける認知症者の BPSDに対するケア】

認知症者のケアのヒント
としてどの程度有益か

家族介護者や認知症
ケア初心者にとって
どの程度実施可能か

	認知症者のケアのヒントとしてどの程度有益か				家族介護者や認知症ケア初心者にとってどの程度実施可能か			
	有益でない	有益あまりでない	やや有益である	有益である	困難	どちらかと言えれば困難	どちらかと言えれば平易	平易
本人の言葉をさえぎらずに時間をかけて話を聞く	1	2	3	4	1	2	3	4
気の合う人と一緒に過ごせるよう環境を整える	1	2	3	4	1	2	3	4
夜眠ることができるように、本人の好みに配慮しながら、照明や室温などの環境を調整する	1	2	3	4	1	2	3	4
静かな場所で過ごせるように環境を変える	1	2	3	4	1	2	3	4
満足することができるように、ご本人がしたいことを聞き取り、実現させる	1	2	3	4	1	2	3	4
心地よさを感じられるように、マッサージをしたり背中をさすったりする	1	2	3	4	1	2	3	4
自尊心を保つことができるように、負担にならない仕事や役割を担ってもらう	1	2	3	4	1	2	3	4
ここに居たいと思えるように、本人が好む作業の手伝いを依頼する	1	2	3	4	1	2	3	4
ここに居たいと思えるように、洗濯物を配るなどの役割を担ってもらい、感謝の言葉をかける	1	2	3	4	1	2	3	4
夜眠ることができるように、デイサービスに参加するなど日中に活動できるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
物がなくならず安心できるように、物の名前を書いて貼る	1	2	3	4	1	2	3	4
物がなくならず安心できるように、本人専用の箱に荷物を入れるようにする	1	2	3	4	1	2	3	4
自宅に帰ることができるように、近隣者の理解と協力を得て家まで誘導してもらう	1	2	3	4	1	2	3	4
夜眠ることができるように、夜になり眠る時間になったことを伝える	1	2	3	4	1	2	3	4
夜眠ることができるように、寝巻に着替えて布団に入り寝ることを習慣づける	1	2	3	4	1	2	3	4

☆以上でアンケートは終了になります。ご協力誠にありがとうございました☆

FAST (Functional Assessment Staging) ステージ

FAST stage	臨床診断	FASTにおける特徴	臨床的特徴
1. 認知機能の障害なし	正常	主観的および客観的機能低下は認められない	5-10年前と比較して職業あるいは社会生活上、主観的および客観的にも変化は全く認められず支障を来すこともない。
2. 非常に軽度の認知機能の低下	年齢相応	物の置き忘れを訴える。喚語困難	名前や物の場所、約束を忘れていたりすることがあるが年齢相応の変化であり、親しい友人や同僚にも通常は気がつかれない。複雑な仕事を遂行したり、込み入った社会生活に適応していくうえで支障はない。多くの場合正常な老化以外の状態は認められない。
3. 軽度の認知機能低下	境界状態	熟練を要する仕事の場面では機能低下が同僚によって認められる。新しい場所に旅行することは困難	初めて、重要な約束を忘れてしまうことがある。初めての土地への旅行のような複雑な作業を遂行する場合には機能低下が明らかになる。買い物や家計の管理あるいはよく知っている場所への旅行など日常行っている作業をするうえでは支障はない。熟練を要する職業や社会的活動から退職してしまうこともあるが、その後の日常生活の中では障害は明らかとはならず、臨床的には軽微である。
4. 中等度の認知機能低下	軽度のアルツハイマー型	夕食に客を招く段取りをつけたり、家計を管理したり、買い物をしたりする程度の仕事でも支障を来す	買い物で必要なものを必要な量だけ買うことができない。誰かがついていないと買い物の勘定を正しく払うことができない。自分で洋服を選んで着たり、入浴したり、行き慣れている所へ行ったりすることには支障はないために日常生活では介助を要しないが、社会生活では支障を来すことがある。単身でアパート生活している老人の場合、家賃の額で大家とトラブルを起こすようなことがある。
5. やや高度の認知機能低下	中等度のアルツハイマー型	介助なしでは適切な洋服を選んで着ることができない、入浴させるときにもなんとかなだめすかして説得することが必要なこともある	家庭での日常生活でも自立できない。買い物をひとりですることはできない。季節にあった洋服を選んだりすることができないために介助が必要となる。明らかに釣り合いがとれていない組合せで服を着たりし、適切に洋服を選べない。毎日の入浴を忘れることもある。なだめすかして入浴させなければならぬにしても、自分で体をきちんと洗うことはできるし、お湯の調節もできる。自動車を適切かつ安全に運転できなくなり、不適切にスピードを上げたり下げたり、また信号を無視したりする。無事故だった人が初めて事故を起こすこともある。きちんと服が揃えてあれば適切に着ることはできる。大声をあげたりするような感情障害や多動、睡眠障害によって家庭で不適応を起こし医師による治療的かわりが必要になる。
6. 高度の認知機能低下	やや高度のアルツハイマー型	(a) 不適切な着衣	寝巻の上に普段着を重ねてきてしまう。靴紐が結べなかったり、ボタンを掛けられなかったり、ネクタイをきちんと結べなかったり、左右間違えずに靴をはけなかったりする。着衣も介助が必要になる。
		(b) 入浴に介助を要す 入浴を嫌がる	お湯の温度や量を調節できなくなり、体もうまく洗えなくなる。浴槽に入ったり出たりすることもできにくくなり、風呂から出た後もきちんと体を拭くことができない。このような障害に先行して風呂に入りたがらない、嫌がるという行動がみられることもある。
		(c) トイレの水を流せなくなる	用を済ませた後水を流すのを忘れたり、きちんと拭くのを忘れる。あるいは済ませた後服をきちんと直せなかったりする。
		(d) 尿失禁	時に(c)の段階と同時に起こるが、これらの段階の間には数カ月間の間隔があることが多い。この時期に起こる尿失禁は尿路感染やほかの生殖泌尿器系の障害がよく起こる。この時期の尿失禁は適切な排泄行動を行ううえでの認知機能の低下によって起こる。
		(e) 便失禁	この時期の障害は(c)や(d)の段階でみられることもあるが、通常は一時的にしる別々にみられることが多い。焦燥や明らかな精神病様攻撃的行為や失禁のために施設入所が考慮されることが多い。

⇒裏面に続く

7. 非常に高度の認知機能低下	高度のアルツハイマー型	(a) 最大限約 6 語に限定された言語機能の低下	語彙と言語能力の貧困化は Alzheimer 型認知症の特徴であるが、発語量の減少と話し言葉のとぎれがしばしば認められる。更に進行すると完全な文章を話す能力は次第に失われる。失禁がみられるようになると、話し言葉は幾つかの単語あるいは短い文節に限られ、語彙は 2、3 の単語のみに限られてしまう。
		(b) 理解し得る語彙はただ 1 つの単語となる	最後に残される単語には個人差があり、ある患者では“はい”という言葉が肯定と否定の両方の意志を示すときもあり、逆に“いいえ”という返事が両方の意味をもつこともある。病気が進行するに従ってこのようなただ 1 つの言葉も失われてしまう。一見、言葉が完全に失われてしまったと思われてから数カ月後に突然最後に残された単語を一時的に発語することがあるが、理解し得る話し言葉が失われた後は叫び声や、意味不明のぶつぶつ言う声のみとなる。
		(c) 歩行能力の喪失	歩行障害が出現する。ゆっくりとした小刻みの歩行となり階段の上り下りに介助を要するようになる。歩行できなくなる時期は個人差はあるが、次第に歩行がゆっくりとなり、歩幅が小さくなっていく場合もあり、歩く時に前方あるいは後方や側方に傾いたりする。寝たきりとなって数カ月すると拘縮が出現する。
		(d) 着座能力の喪失	寝たきり状態であってもはじめのうち介助なしで椅子に座っていることは可能である。しかし、次第に介助なしで椅子に座っていることもできなくなる。この時期ではまだ笑ったり、噛んだり、握ることはできる
		(e) 笑う能力の喪失	この時期では刺激に対して眼球をゆっくり動かすことは可能である。多くの患者では把握反射は嚥下運動とともに保たれる。
		(f) 昏迷および昏睡	Alzheimer 型認知症の末期ともいえるこの時期は本疾患に付随する代謝機能の低下と関連する

平成 26 年度 厚生労働省老人保健事業推進費等補助金
(老人保健健康増進等事業)

在宅認知症者のステージごとの生活障害と行動・心理症状に応じた
グッドプラクティスを普及するためのイラスト教材開発事業報告書

2015 年 3 月発行

発行 公益財団法人 日本訪問看護財団
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5 丁目 8 番 2 号 日本看護協会ビル 5 F
TEL:03-5778-7001 FAX:03-5778-7009

URL:<http://www.jvnf.or.jp>

印刷 三報社印刷株式会社

- 本書の一部または全部を許可なく複写・複製することは著作権・出版権の侵害になりますのでご注意ください。

